

I. 調査概要

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 調査目的

本調査は、高齢者の生活の状況や心身の状態などについて把握し、リスクや社会参加状況を分析します。第8期高年齢者いきいき計画の策定に向けての基礎資料として、地域課題の抽出を行い、求められる介護予防事業や、地域包括ケアシステム構築などの推進に活用します。

(2) 調査の実施について

対象者	無作為に抽出した65歳以上の市民 3,511名 (内訳) 一般高齢者(要介護・要支援と認定されていない市民) 2,515名 要支援1・2の認定を受けている市民 954名 総合事業対象者 42名
実施期間	令和2年1月20日(月)～令和2年2月7日(金)
実施方法	郵送配布、郵送回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを送付)

(3) 調査の回収等について

	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回答率
全体	3,511件	2,824件	80.4%	2,767件	78.8%

2. 在宅介護実態調査

(1) 調査目的

「高齢者等の適切な在宅生活の継続」や「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

(2) 調査の実施について

対象者	在宅で介護を受けている要介護(要支援)のうち、実施期間中に認定の更新や区分変更を申請した人及びその方を介護する家族等 514名 ※施設入所者や新規申請者は対象外です。
実施期間	平成31年2月1日(金)～令和2年2月7日(金)
実施方法	認定調査員による聞き取り調査

(3) 在宅介護実態調査

	有効回収数
全体	514件

3. 調査結果の留意点について

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数をさします。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA、LAと記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 各種リスク判定の「非該当」には、判定不能の場合も含まれます。
5. 在宅介護実態調査のクロス集計については、厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。認定データと突合ができない回答及び無回答を除いた集計となっています。

II. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（抜粋）

※問の掲載順は調査票と異なる場合があります。

1. 回答者の属性

		単位：%			単位：%					
		母数 (n)	圏域		母数 (n)	認定該当状況				
			東	西		一 般 高 齢 者	要 支 援 1	要 支 援 2		
全体		2,767	46.3	53.7						
性別	男性	1,142	45.0	55.0						
	女性	1,625	47.1	52.9						
年齢	前期高齢者	1,105	46.3	53.7						
	後期高齢者	1,662	46.2	53.8						
年齢	65～69歳	495	48.5	51.5	全体	2,767	72.9	17.6	9.5	
	70～74歳	610	44.6	55.4						
	75～79歳	744	46.9	53.1						
	80～84歳	918	45.6	54.4						
性・年齢	男性 前期高齢者	486	44.2	55.8	性・年齢	486	84.2	10.1	5.8	
	後期高齢者	656	74.2	17.7						8.1
	女性 前期高齢者	619	85.9	7.9						6.1
	後期高齢者	1,006	58.5	27.2						14.2
圏域	東	1,280	73.8	17.4	8.8					
	西	1,487	72.1	17.8	10.1					

※前期高齢者…65歳～74歳、後期高齢者…75歳以上

※圏域について、東は、「古市地区」「駒ヶ谷地区」「西浦地区」「羽曳が丘地区」、西は、「高鷲地区」「埴生地区」「丹比地区」

2. ご家族や生活状況について

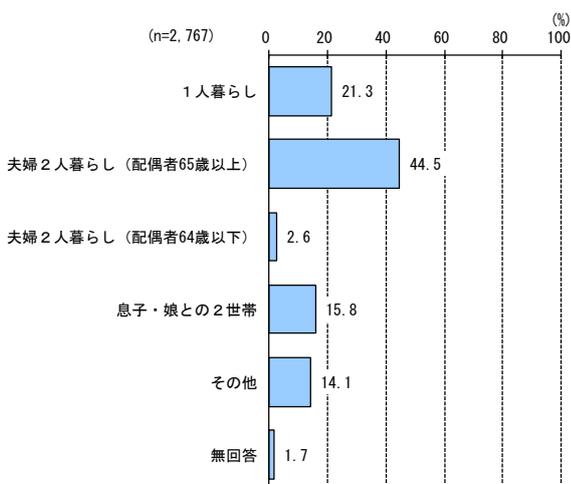
(1) 家族構成

●問 1.1 家族構成をお教えてください。（1つに○）

【全体】

○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.5%で最も多く、次いで「1人暮らし」が21.3%、「息子・娘との2世帯」が15.8%となっています。

【家族構成】



		単位：%						
		母数 (n)	家族構成					無 回 答
			1 人 暮 ら し	夫 婦 2 人 暮 ら し (配 偶 者 6 5 歳 以 上)	夫 婦 2 人 暮 ら し (配 偶 者 6 4 歳 以 下)	息 子 ・ 娘 と の 2 世 帯	そ の 他	
全体		2,767	21.3	44.5	2.6	15.8	14.1	1.7
性・年齢	男性 前期高齢者	486	14.8	43.6	9.3	14.8	16.3	1.2
	後期高齢者	656	13.4	58.5	1.1	14.6	10.7	1.7
	女性 前期高齢者	619	16.6	47.3	1.9	14.4	18.7	1.0
	後期高齢者	1,006	32.5	33.9	0.7	18.0	12.4	2.5
圏域	東	1,280	20.2	45.0	2.5	17.7	12.7	2.0
	西	1,487	22.3	44.0	2.6	14.3	15.3	1.5
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	17.0	47.4	3.0	16.2	14.7	1.7
	要支援1・2	750	33.1	36.5	1.3	14.9	12.4	1.7

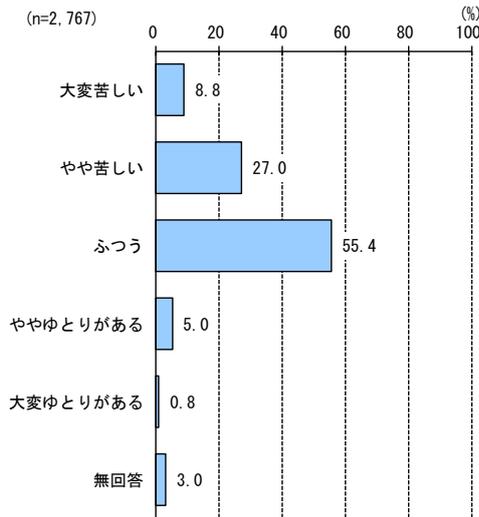
(2) 経済状況

●問 1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

【全体】

○ 経済状況について、「ふつう」が55.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が27.0%、「大変苦しい」が8.8%となっています。

【経済状況】



	母数 (n)	経済状況					無回答	
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある		
全体	2,767	8.8	27.0	55.4	5.0	0.8	3.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	8.4	29.8	54.9	4.3	0.4	2.1
	後期高齢者	656	8.7	29.6	54.6	4.1	0.8	2.3
	女性 前期高齢者	619	8.9	25.2	56.1	5.8	1.0	3.1
	後期高齢者	1,006	9.0	25.0	55.8	5.4	0.8	4.0
圏域	東	1,280	7.4	25.2	58.5	5.5	0.6	2.7
	西	1,487	10.0	28.5	52.7	4.6	0.9	3.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	8.1	25.3	57.3	5.6	0.9	2.8
	要支援1・2	750	10.7	31.6	50.4	3.3	0.3	3.7

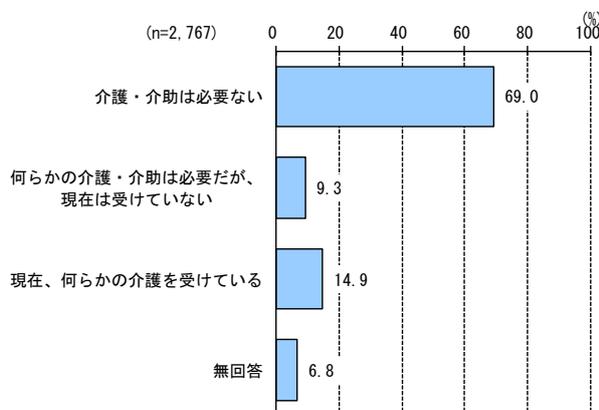
(3) 介護・介助の必要性

●問 1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

【全体】

○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が69.0%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が14.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.3%となっています。

【介護・介助の必要性】



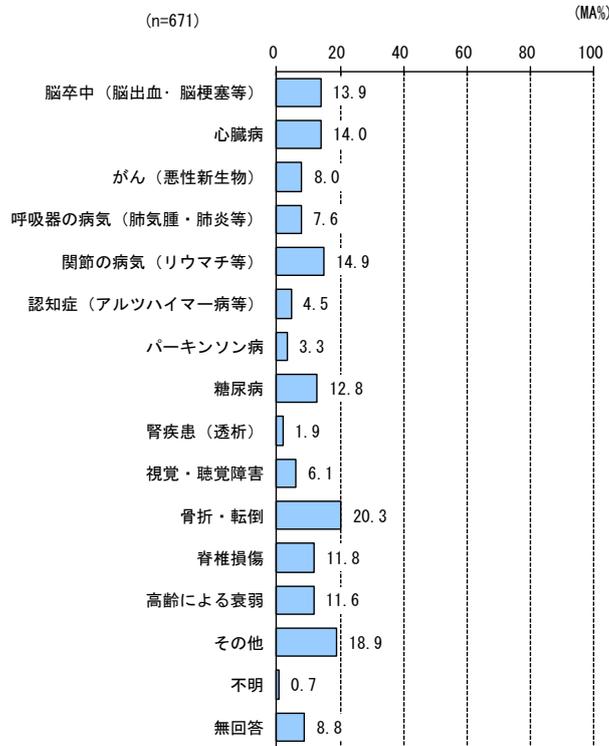
	母数 (n)	介護・介助の必要性				無回答
		介護・介助は必要ない	必要だが、現在は受けていない	何らかの介護を受けている	現在、何らかの介護を受けている	
全体	2,767	69.0	9.3	14.9	6.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	80.2	5.1	9.1	5.6
	後期高齢者	656	68.1	11.4	15.2	5.2
	女性 前期高齢者	619	81.4	4.4	7.6	6.6
	後期高齢者	1,006	56.5	13.0	22.1	8.4
圏域	東	1,280	69.5	7.8	15.3	7.3
	西	1,487	68.5	10.6	14.6	6.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	85.5	5.3	2.8	6.4
	要支援1・2	750	24.7	20.1	47.5	7.7

●問 1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「骨折・転倒」が20.3%で最も多く、次いで「その他」が18.9%、「関節の病気（リウマチ等）」が14.9%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因（MA）】



単位：%

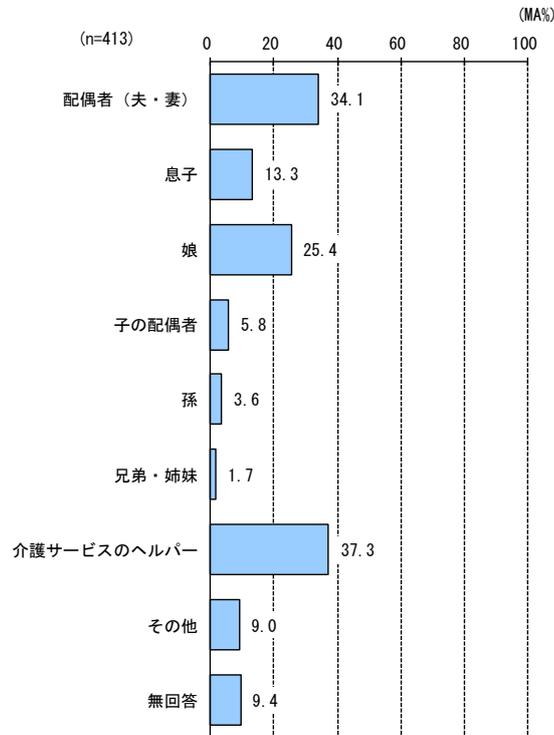
	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因 (MA)																
		脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	671	13.9	14.0	8.0	7.6	14.9	4.5	3.3	12.8	1.9	6.1	20.3	11.8	11.6	18.9	0.7	8.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	69	27.5	8.7	11.6	11.6	8.7	2.9	2.9	20.3	4.3	1.4	7.2	18.8	1.4	14.5	1.4	5.8
	男性 後期高齢者	175	20.0	18.3	12.0	12.0	11.4	7.4	4.0	11.4	1.7	6.9	12.6	11.4	14.3	12.0	1.1	10.3
	女性 前期高齢者	74	12.2	6.8	8.1	9.5	13.5	2.7	2.7	12.2	-	2.7	25.7	2.7	2.7	31.1	1.4	12.2
	女性 後期高齢者	353	8.5	14.4	5.4	4.2	18.1	3.7	3.1	12.2	2.0	7.4	25.5	12.5	14.2	20.7	0.3	7.9
圏域	東	296	12.5	10.5	9.1	8.1	16.6	4.7	5.1	14.2	1.0	7.8	20.3	8.8	10.8	16.6	1.0	8.4
	西	375	14.9	16.8	7.2	7.2	13.6	4.3	1.9	11.7	2.7	4.8	20.3	14.1	12.3	20.8	0.5	9.1
認定該当状況	一般高齢者	164	11.6	12.8	6.1	5.5	12.2	8.5	3.7	7.9	0.6	6.1	12.2	8.5	12.2	17.7	0.6	15.9
	要支援 1・2	507	14.6	14.4	8.7	8.3	15.8	3.2	3.2	14.4	2.4	6.1	22.9	12.8	11.4	19.3	0.8	6.5

●問 1.2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

○ 主な介護者について、「介護サービスのヘルパー」が 37.3%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 34.1%、「娘」が 25.4%となっています。

【主な介護者（MA）】



単位：%

	母数 (n)	主な介護者 (MA)									
		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答	
全体	413	34.1	13.3	25.4	5.8	3.6	1.7	37.3	9.0	9.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	44	54.5	9.1	4.5	-	-	2.3	34.1	2.3	9.1
	後期高齢者	100	57.0	7.0	15.0	4.0	1.0	2.0	26.0	12.0	10.0
	女性 前期高齢者	47	36.2	6.4	25.5	-	4.3	2.1	40.4	17.0	8.5
	後期高齢者	222	19.4	18.5	34.2	9.0	5.4	1.4	42.3	7.2	9.5
圏域	東	196	32.1	13.8	23.0	6.1	4.1	1.5	37.8	6.6	8.2
	西	217	35.9	12.9	27.6	5.5	3.2	1.8	36.9	11.1	10.6
認定該当 状況	一般高齢者	57	50.9	10.5	19.3	5.3	1.8	1.8	8.8	10.5	7.0
	要支援 1・2	356	31.5	13.8	26.4	5.9	3.9	1.7	41.9	8.7	9.8

3. からだを動かすことについて

(1) 運動器機能低下のリスク

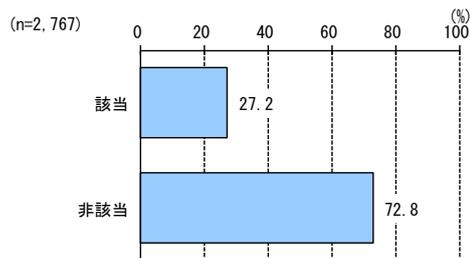
以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2-3 15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2-5 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2-6 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が27.2%、「非該当」が72.8%となっています。

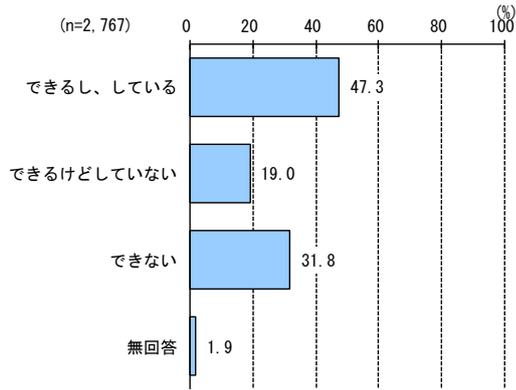
【運動器の機能低下リスク】



単位：%

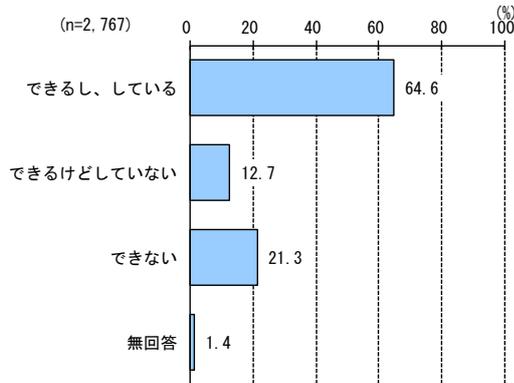
	母数 (n)	運動器の機能低下リスク		
		該当	非該当	
全体	2,767	27.2	72.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	14.0	86.0
	後期高齢者	656	25.2	74.8
	女性 前期高齢者	619	16.2	83.8
	後期高齢者	1,006	41.8	58.2
圏域	東	1,280	26.5	73.5
	西	1,487	27.9	72.1
認定該当状況	一般高齢者	2,017	12.7	87.3
	要支援1・2	750	60.3	39.7

【参考：階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか（問2.1）】



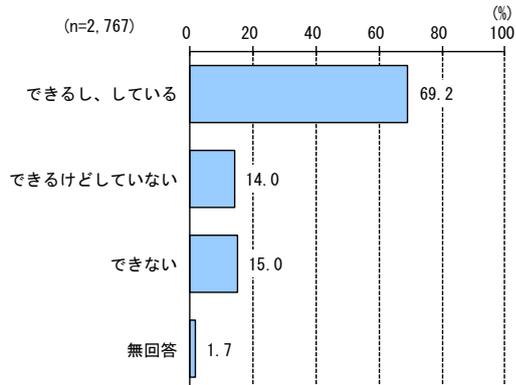
		母数 (n)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,767	47.3	19.0	31.8	1.9
性・年齢	男性 前期高齢者	486	64.2	19.1	15.4	1.2
	後期高齢者	656	46.8	21.5	29.9	1.8
	女性 前期高齢者	619	61.6	17.8	19.9	0.8
	後期高齢者	1,006	30.6	18.1	48.4	2.9
圏域	東	1,280	49.8	17.3	30.8	2.2
	西	1,487	45.1	20.5	32.8	1.6
認定該当状況	一般高齢者	2,017	59.2	22.4	17.0	1.5
	要支援1・2	750	15.2	10.0	71.9	2.9

【参考：椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか（問2.2）】



		母数 (n)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,767	64.6	12.7	21.3	1.4
性・年齢	男性 前期高齢者	486	76.3	12.1	9.9	1.6
	後期高齢者	656	62.3	15.7	20.9	1.1
	女性 前期高齢者	619	76.9	9.9	12.4	0.8
	後期高齢者	1,006	52.9	12.8	32.5	1.8
圏域	東	1,280	65.2	12.3	21.1	1.4
	西	1,487	64.2	13.0	21.5	1.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	77.2	12.3	9.2	1.2
	要支援1・2	750	30.7	13.7	53.9	1.7

【参考：15分位続けて歩いているか（問2.3）】



		母数 (n)	15分位続けて歩いているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,767	69.2	14.0	15.0	1.7
性・年齢	男性 前期高齢者	486	73.7	15.2	9.7	1.4
	後期高齢者	656	70.6	14.0	14.5	0.9
	女性 前期高齢者	619	76.3	13.7	9.0	1.0
	後期高齢者	1,006	61.9	13.5	21.7	2.9
圏域	東	1,280	70.5	13.7	14.2	1.6
	西	1,487	68.2	14.3	15.7	1.8
認定該当状況	一般高齢者	2,017	77.4	14.3	6.9	1.4
	要支援1・2	750	47.3	13.1	36.9	2.7

(2) 閉じこもりリスク

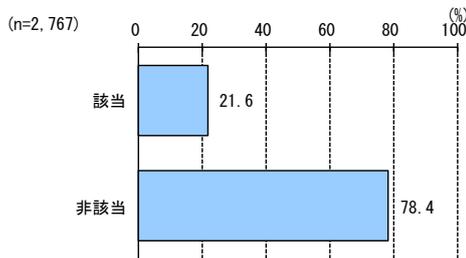
以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもりリスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
問2-7 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない または 2. 週1回

【全体】

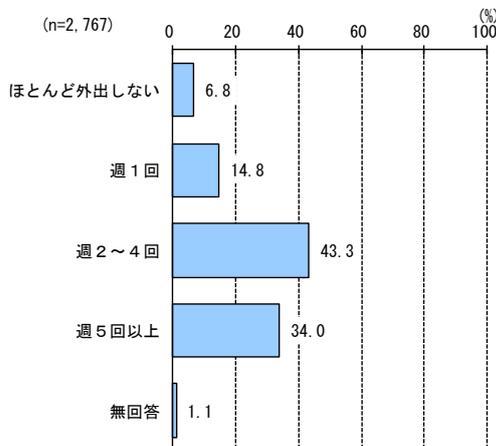
○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が21.6%、「非該当」が78.4%となっています。

【閉じこもりのリスク】



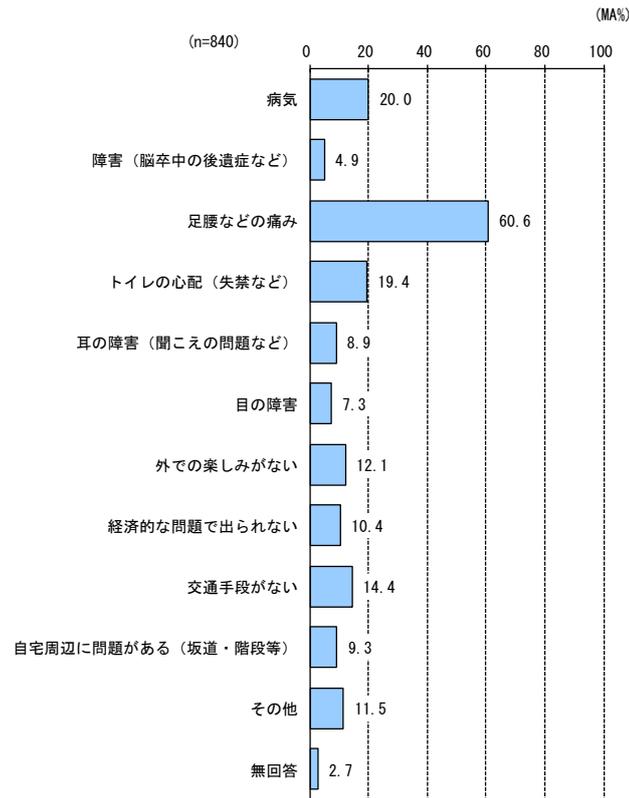
		母数 (n)	閉じこもりのリスク	
			該当	非該当
全体		2,767	21.6	78.4
性・年齢	男性 前期高齢者	486	15.0	85.0
	後期高齢者	656	22.9	77.1
	女性 前期高齢者	619	14.2	85.8
	後期高齢者	1,006	28.4	71.6
圏域	東	1,280	20.5	79.5
	西	1,487	22.5	77.5
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	15.8	84.2
	要支援1・2	750	37.2	62.8

【参考：週に1回以上は外出しているか】



		母数 (n)	週に1回以上は外出しているか				
			ほとんど 外出し ない	週 1 回	週 2 ~ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全体		2,767	6.8	14.8	43.3	34.0	1.1
性・年齢	男性 前期高齢者	486	3.7	11.3	34.4	48.8	1.9
	後期高齢者	656	8.4	14.5	40.5	36.3	0.3
	女性 前期高齢者	619	4.8	9.4	45.4	39.4	1.0
	後期高齢者	1,006	8.4	20.0	48.2	22.0	1.4
圏域	東	1,280	6.1	14.4	43.8	34.4	1.4
	西	1,487	7.4	15.1	43.0	33.6	0.9
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	4.5	11.3	41.3	41.9	1.0
	要支援1・2	750	12.9	24.3	48.7	12.7	1.5

【参考：外出を控えている理由（MA）（問2.10-1）】



単位：%

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)											
			病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰 などの 痛み	トイレ の心配 (失禁など)	耳の 障害 (聞こえの問題など)	目の 障害	外 での 楽しみ がない	経済 的な 問題 で 出 ら れ な い	交通 手段 が ない	自宅 周辺 に 問 題 が あ る (坂 道・ 階 段 等)	そ の 他	無 回 答
全体		840	20.0	4.9	60.6	19.4	8.9	7.3	12.1	10.4	14.4	9.3	11.5	2.7
性・年齢	男性 前期高齢者	71	29.6	16.9	39.4	25.4	1.4	5.6	21.1	14.1	4.2	5.6	4.2	-
	後期高齢者	194	17.5	6.2	54.6	24.2	9.8	9.8	19.6	6.2	13.4	7.7	11.3	2.1
	女性 前期高齢者	129	25.6	3.1	51.9	11.6	2.3	4.7	14.0	17.1	7.8	9.3	20.9	5.4
	後期高齢者	446	17.9	2.9	69.1	18.6	11.7	7.2	7.0	9.6	18.4	10.5	10.1	2.7
圏域	東	380	20.0	3.9	58.4	19.2	10.0	7.1	13.4	11.6	16.8	11.1	10.8	2.9
	西	460	20.0	5.7	62.4	19.6	8.0	7.4	11.1	9.3	12.4	7.8	12.2	2.6
認定該当 状況	一般高齢者	388	14.2	2.1	51.5	17.0	9.5	7.7	14.2	13.1	10.3	5.7	13.1	4.6
	要支援1・2	452	25.0	7.3	68.4	21.5	8.4	6.9	10.4	8.0	17.9	12.4	10.2	1.1

(3) 転倒リスク

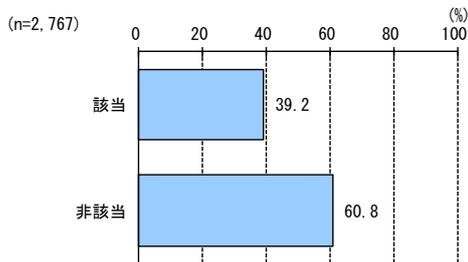
以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
問 2-5 過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある または 2. 1 度ある

【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が 39.2%、「非該当」が 60.8%となっています。

【転倒リスク】



		母数 (n)	転倒リスク	
			該 当	非 該 当
全体		2,767	39.2	60.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	29.8	70.2
	後期高齢者	656	39.8	60.2
	女性 前期高齢者	619	31.2	68.8
	後期高齢者	1,006	48.4	51.6
圏域	東	1,280	37.7	62.3
	西	1,487	40.6	59.4
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	31.4	68.6
	要支援 1・2	750	60.4	39.6

4. 食べることについて

(1) 低栄養のリスク

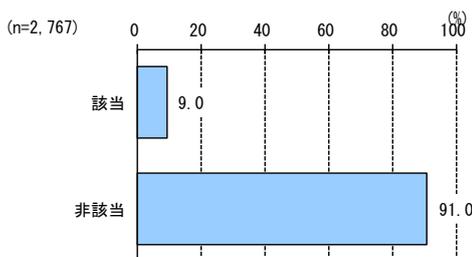
以下の設問から算出される BMI (体重 (kg) ÷ 身長 (m)²) が 18.5 未満の場合低栄養のリスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
問 3-1 身長・体重を教えてください。	18.5 未満

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が 9.0%、「非該当」が 91.0%となっています。

【低栄養のリスク】



		母数 (n)	栄養改善のリスク	
			該 当	非 該 当
全体		2,767	9.0	91.0
性・年齢	男性 前期高齢者	486	3.7	96.3
	後期高齢者	656	9.1	90.9
	女性 前期高齢者	619	8.7	91.3
	後期高齢者	1,006	11.7	88.3
圏域	東	1,280	8.7	91.3
	西	1,487	9.3	90.7
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	7.9	92.1
	要支援 1・2	750	12.0	88.0

(2) 口腔機能低下のリスク

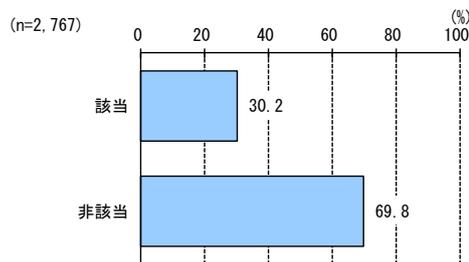
以下の設問に対して該当する場合は、口腔機能低下のリスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つだけ）	1. はい
問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つだけ）	1. はい
問3-4 口の渇きが気になりますか（1つだけ）	1. はい

【全体】

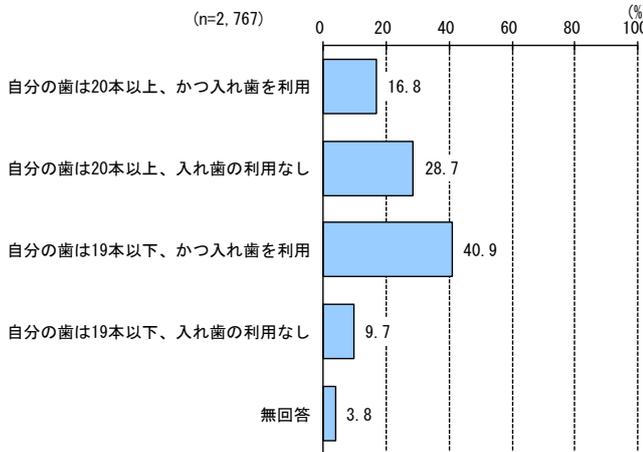
○ 口腔機能低下のリスクについて、「該当」が30.2%、「非該当」が69.8%となっています。

【口腔機能低下のリスク】



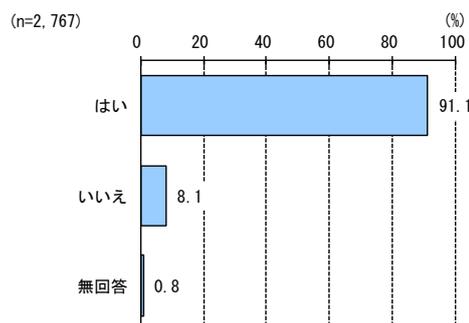
		母数 (n)	口腔機能の低下リスク	
			該当	非該当
全体		2,767	30.2	69.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	24.9	75.1
	後期高齢者	656	31.1	68.9
	女性 前期高齢者	619	22.1	77.9
	後期高齢者	1,006	37.2	62.8
圏域	東	1,280	31.1	68.9
	西	1,487	29.5	70.5
認定該当状況	一般高齢者	2,017	23.9	76.1
	要支援1・2	750	47.1	52.9

【参考：歯の数と入れ歯の利用状況（問3.6）】



		母数 (n)	歯の数と入れ歯の利用状況				
			か自分の入れ歯を2利用本以上、	入れ歯の利は20本以上、	か自分の入れ歯を1利用本以下、	自分の歯は19本以下、	無回答
全体		2,767	16.8	28.7	40.9	9.7	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	14.4	37.4	33.3	13.0	1.9
	後期高齢者	656	17.4	21.0	49.7	9.0	2.9
	女性 前期高齢者	619	15.3	43.0	29.1	9.4	3.2
	後期高齢者	1,006	18.6	20.7	46.1	8.8	5.8
圏域	東	1,280	17.0	28.8	42.2	9.1	2.9
	西	1,487	16.7	28.6	39.8	10.2	4.6
認定該当状況	一般高齢者	2,017	16.0	32.4	39.5	9.4	2.7
	要支援1・2	750	19.1	18.7	44.8	10.5	6.9

【参考：歯磨きを毎日しているか（問3.5）】



		母数 (n)	歯磨きを毎日しているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	91.1	8.1	0.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	89.1	10.1	0.8
	後期高齢者	656	88.7	10.7	0.6
	女性 前期高齢者	619	94.5	4.8	0.6
	後期高齢者	1,006	91.6	7.5	1.0
圏域	東	1,280	91.3	7.7	1.0
	西	1,487	90.9	8.5	0.6
認定該当状況	一般高齢者	2,017	92.2	7.2	0.6
	要支援1・2	750	88.3	10.5	1.2

5. 毎日の生活について

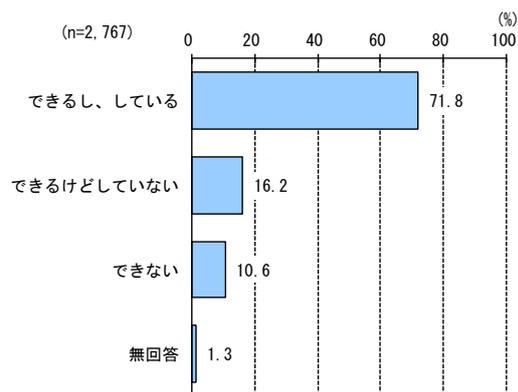
(1) 日常生活の状況

●問 4.4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つに○）

【全体】

○ バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が71.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.2%、「できない」が10.6%となっています。

【バスや電車を使って1人で外出しているか】



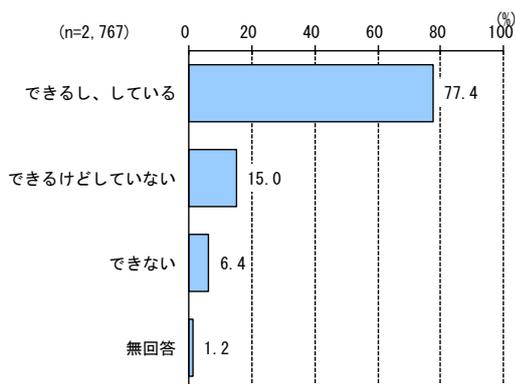
		母数 (n)	バスや電車を使って1人で外出しているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,767	71.8	16.2	10.6	1.3
性・年齢	男性 前期高齢者	486	82.5	11.7	4.5	1.2
	後期高齢者	656	72.1	17.4	9.3	1.2
	女性 前期高齢者	619	77.4	14.9	6.8	1.0
	後期高齢者	1,006	63.0	18.5	16.8	1.7
圏域	東	1,280	72.9	15.9	9.8	1.4
	西	1,487	70.9	16.5	11.3	1.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	81.8	13.1	4.0	1.1
	要支援1・2	750	45.1	24.7	28.4	1.9

●問 4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（1つに○）

【全体】

○ 自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」が77.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.0%、「できない」が6.4%となっています。

【自分で食品・日用品の買物をしているか】



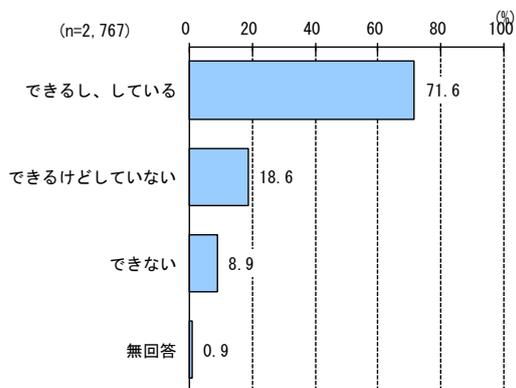
		母数 (n)	自分で食品・日用品の買物をしているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,767	77.4	15.0	6.4	1.2
性・年齢	男性 前期高齢者	486	69.5	25.7	3.3	1.4
	後期高齢者	656	68.3	22.9	7.5	1.4
	女性 前期高齢者	619	91.0	3.4	4.7	1.0
	後期高齢者	1,006	78.9	11.7	8.2	1.2
圏域	東	1,280	79.2	14.2	5.5	1.1
	西	1,487	75.9	15.6	7.1	1.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	83.9	12.8	2.2	1.1
	要支援1・2	750	60.0	20.8	17.6	1.6

●問 4.6 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

【全体】

○ 自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が 71.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 18.6%、「できない」が 8.9%となっています。

【自分で食事の用意をしているか】



		母数 (n)	自分で食事の用意をしているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		2,767	71.6	18.6	8.9	0.9
性・年齢	男性 前期高齢者	486	43.4	42.4	13.2	1.0
	後期高齢者	656	42.7	37.0	19.2	1.1
	女性 前期高齢者	619	95.5	1.3	2.6	0.6
	後期高齢者	1,006	89.3	5.9	3.9	1.0
圏域	東	1,280	72.9	18.9	7.5	0.7
	西	1,487	70.4	18.4	10.0	1.1
認定該当状況	一般高齢者	2,017	72.4	20.3	6.4	0.9
	要支援1・2	750	69.3	14.1	15.5	1.1

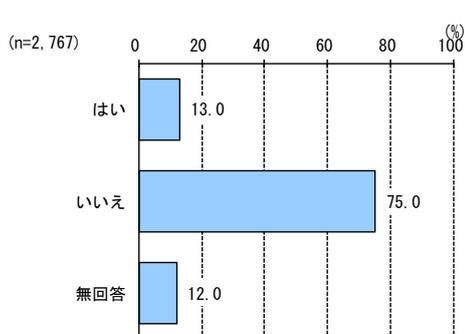
(2) 移動手段について

●問 9.2 現在、移動手段がなくて困っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 移動手段がなくて困っているかについて、「はい」が 13.0%、「いいえ」が 75.0%となっています。

【移動手段がなくて困っているか】



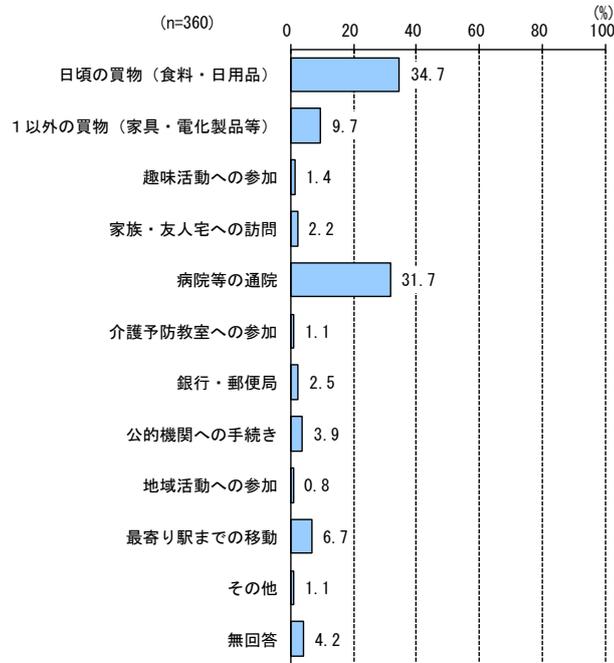
		母数 (n)	移動手段がなくて困っているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	13.0	75.0	12.0
性・年齢	男性 前期高齢者	486	3.3	91.2	5.6
	後期高齢者	656	14.5	73.9	11.6
	女性 前期高齢者	619	5.3	87.4	7.3
	後期高齢者	1,006	21.5	60.3	18.2
圏域	東	1,280	13.0	75.5	11.5
	西	1,487	13.0	74.6	12.4
認定該当状況	一般高齢者	2,017	7.3	82.1	10.7
	要支援1・2	750	28.4	56.1	15.5

●問 9.2-1 (移動手段がないため) 特に困っていることは何ですか。(1つに○)

【全体】

○ 特に困っていることについて、「日頃の買物(食料・日用品)」が34.7%で最も多く、次いで「病院等の通院」が31.7%、「1以外の買物(家具・電化製品等)」が9.7%となっています。

【特に困っていること】



単位：%

	母数 (n)	特に困っていること												
		日頃の買物(食料・日用品)	1以外の買物(家具・電化製品等)	趣味活動への参加	家族・友人宅への訪問	病院等の通院	介護予防教室への参加	銀行・郵便局	公的機関への手続き	地域活動への参加	最寄り駅までの移動	その他	無回答	
全体	360	34.7	9.7	1.4	2.2	31.7	1.1	2.5	3.9	0.8	6.7	1.1	4.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	16	31.3	6.3	-	-	37.5	-	-	6.3	-	-	6.3	12.5
	後期高齢者	95	33.7	10.5	1.1	1.1	38.9	1.1	1.1	3.2	2.1	2.1	1.1	4.2
	女性 前期高齢者	33	42.4	3.0	6.1	3.0	21.2	-	-	6.1	3.0	6.1	6.1	3.0
	後期高齢者	216	34.3	10.6	0.9	2.8	29.6	1.4	3.7	3.7	-	9.3	-	3.7
圏域	東	167	34.7	12.6	3.0	1.2	29.3	1.2	2.4	3.6	-	8.4	0.6	3.0
	西	193	34.7	7.3	-	3.1	33.7	1.0	2.6	4.1	1.6	5.2	1.6	5.2
認定該当状況	一般高齢者	147	25.9	10.9	2.7	0.7	34.7	1.4	1.4	5.4	1.4	8.8	2.0	4.8
	要支援1・2	213	40.8	8.9	0.5	3.3	29.6	0.9	3.3	2.8	0.5	5.2	0.5	3.8

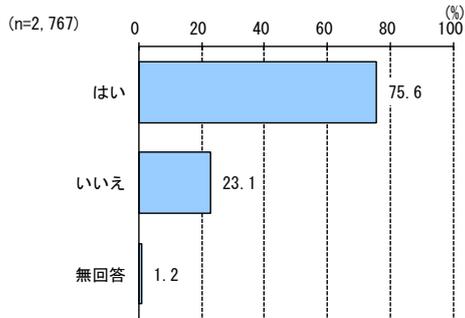
(3) 情報の収集

●問 4.10 新聞を読んでいますか。(1つに○)

【全体】

○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が75.6%、「いいえ」が23.1%となっています。

【新聞を読んでいるか】



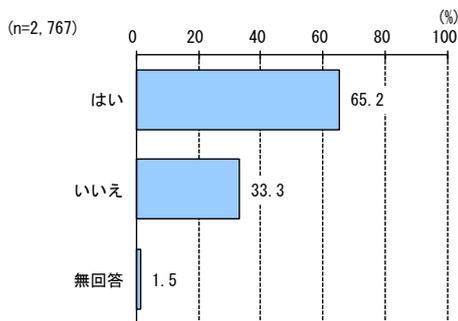
		母数 (n)	新聞を読んでいるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	75.6	23.1	1.2
性・年齢	男性 前期高齢者	486	75.1	24.1	0.8
	後期高齢者	656	83.8	14.5	1.7
	女性 前期高齢者	619	69.5	29.6	1.0
	後期高齢者	1,006	74.4	24.4	1.3
圏域	東	1,280	76.3	22.7	1.0
	西	1,487	75.1	23.5	1.4
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	77.9	20.7	1.3
	要支援1・2	750	69.5	29.6	0.9

●問 4.11 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

【全体】

○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が65.2%、「いいえ」が33.3%となっています。

【本や雑誌を読んでいるか】



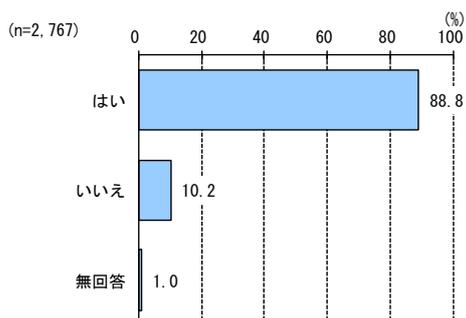
		母数 (n)	本や雑誌を読んでいるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	65.2	33.3	1.5
性・年齢	男性 前期高齢者	486	65.0	33.7	1.2
	後期高齢者	656	60.1	38.3	1.7
	女性 前期高齢者	619	72.9	26.2	1.0
	後期高齢者	1,006	63.9	34.3	1.8
圏域	東	1,280	66.3	32.7	1.0
	西	1,487	64.2	33.9	1.9
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	68.4	30.0	1.5
	要支援1・2	750	56.5	42.1	1.3

●問 4.12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

【全体】

○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が88.8%、「いいえ」が10.2%となっています。

【健康についての記事や番組に関心があるか】



		母数 (n)	健康についての記事や 番組に関心があるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	88.8	10.2	1.0
性・年齢	男性 前期高齢者	486	81.7	17.5	0.8
	後期高齢者	656	84.6	14.0	1.4
	女性 前期高齢者	619	92.4	6.8	0.8
	後期高齢者	1,006	92.6	6.3	1.1
圏域	東	1,280	89.8	9.4	0.9
	西	1,487	87.9	10.9	1.2
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	88.7	10.2	1.0
	要支援1・2	750	88.8	10.1	1.1

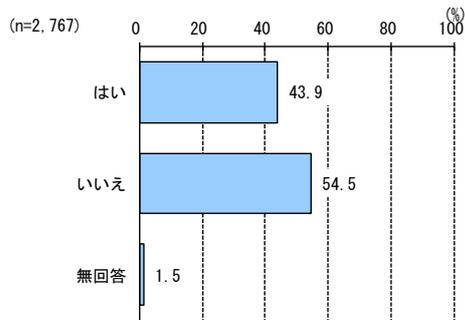
(4) 友人との関わり

●問 4.13 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

【全体】

○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が43.9%、「いいえ」が54.5%となっています。

【友人の家を訪ねているか】



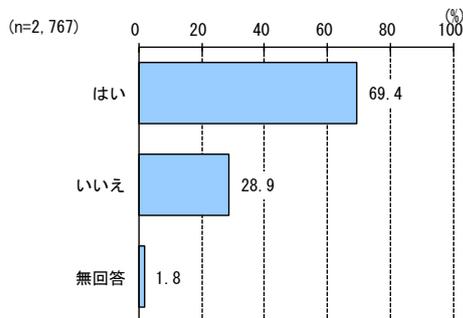
		母数 (n)	友人の家を訪ねているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	43.9	54.5	1.5
性・年齢	男性 前期高齢者	486	31.1	67.7	1.2
	後期高齢者	656	34.9	63.9	1.2
	女性 前期高齢者	619	53.6	44.9	1.5
	後期高齢者	1,006	50.1	48.0	1.9
圏域	東	1,280	45.5	53.2	1.3
	西	1,487	42.6	55.7	1.7
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	47.6	51.0	1.4
	要支援1・2	750	34.1	64.0	1.9

●問 4.14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

【全体】

○ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が69.4%、「いいえ」が28.9%となっています。

【家族や友人の相談にのっているか】



		母数 (n)	家族や友人の相談に のっているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	69.4	28.9	1.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	67.3	31.3	1.4
	後期高齢者	656	62.7	35.8	1.5
	女性 前期高齢者	619	82.9	15.8	1.3
	後期高齢者	1,006	66.4	31.2	2.4
圏域	東	1,280	69.2	28.8	2.0
	西	1,487	69.5	28.9	1.6
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	74.0	24.2	1.8
	要支援1・2	750	56.8	41.5	1.7

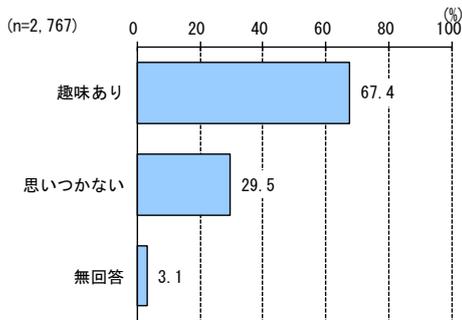
(5) 趣味・生きがいについて

●問 4.17 趣味はありますか。(1つに○)

【全体】

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が67.4%、「思いつかない」が29.5%となっています。

【趣味の有無】



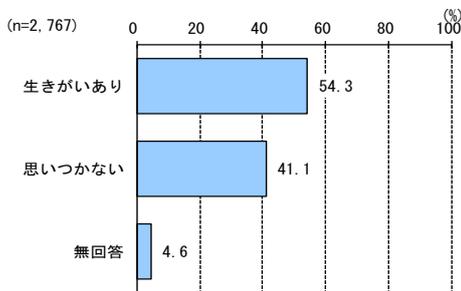
	母数 (n)	趣味の有無			
		趣味あり	思いつかない	無回答	
全体	2,767	67.4	29.5	3.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	71.4	27.2	1.4
	後期高齢者	656	67.8	29.6	2.6
	女性 前期高齢者	619	68.2	28.6	3.2
	後期高齢者	1,006	64.8	31.0	4.2
圏域	東	1,280	69.0	27.8	3.2
	西	1,487	66.1	30.9	3.0
認定該当状況	一般高齢者	2,017	71.3	26.0	2.7
	要支援1・2	750	56.9	38.8	4.3

●問 4.18 生きがいはありますか。(1つに○)

【全体】

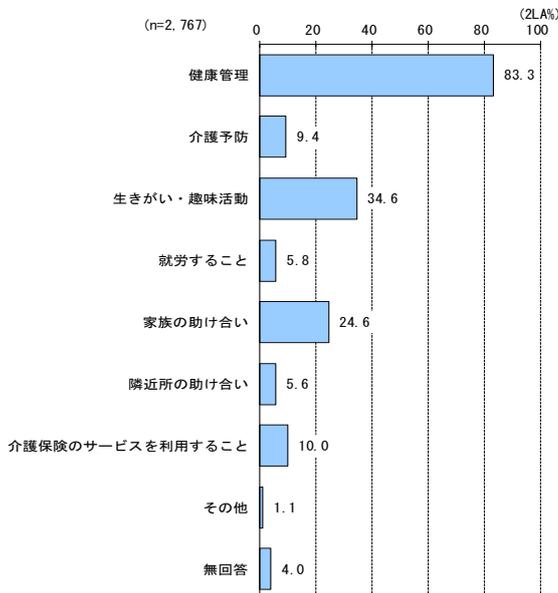
○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が54.3%、「思いつかない」が41.1%となっています。

【生きがいの有無】



	母数 (n)	生きがいの有無			
		生きがいあり	思いつかない	無回答	
全体	2,767	54.3	41.1	4.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	51.0	46.3	2.7
	後期高齢者	656	52.7	42.4	4.9
	女性 前期高齢者	619	59.3	37.5	3.2
	後期高齢者	1,006	53.9	40.0	6.2
圏域	東	1,280	54.3	40.5	5.2
	西	1,487	54.3	41.6	4.1
認定該当状況	一般高齢者	2,017	58.2	37.8	4.0
	要支援1・2	750	44.0	49.9	6.1

【参考：高齢者になっても自立した生活を送るために必要な事は何だと思いますか (問 9.1)】



	母数 (n)	自立した生活を送るために必要であると思うこと (2LA)							無回答		
		健康管理	介護予防	生きがい・趣味活動	就労すること	家族の助け合い	隣近所の助け合い	を介護保険のサービス		その他	
全体	2,767	83.3	9.4	34.6	5.8	24.6	5.6	10.0	1.1	4.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	82.9	7.8	38.7	15.2	21.6	2.5	6.8	2.3	2.3
	後期高齢者	656	82.3	7.2	34.8	4.0	29.6	4.1	8.4	1.1	4.3
	女性 前期高齢者	619	85.0	12.4	38.6	6.8	21.0	5.0	8.4	0.6	3.7
	後期高齢者	1,006	83.2	9.7	29.9	1.9	25.1	8.3	13.6	0.8	4.9
圏域	東	1,280	84.1	9.9	35.7	5.1	24.4	4.8	9.9	1.1	3.5
	西	1,487	82.7	8.9	33.6	6.5	24.9	6.3	10.1	1.1	4.4
認定該当状況	一般高齢者	2,017	85.4	8.0	38.5	7.4	24.8	4.8	6.2	1.2	3.1
	要支援1・2	750	77.9	13.2	24.0	1.5	24.1	7.7	20.3	0.7	6.4

6. 地域での活動について

(1) ボランティア等への参加

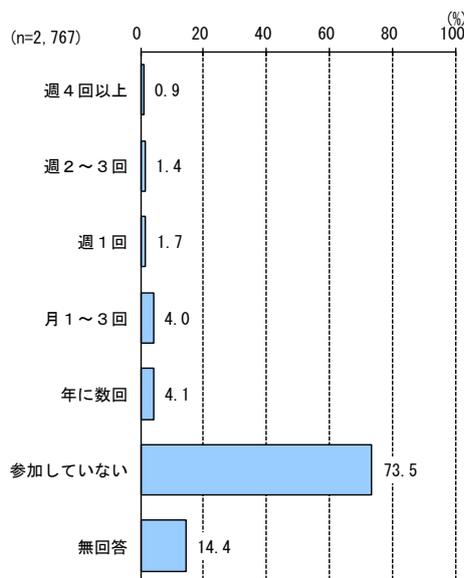
●問 5.1 以下のような会・グループ等※にどのくらいの頻度で参加していますか

※①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、④学習・教養サークル、⑤はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事

【全体】

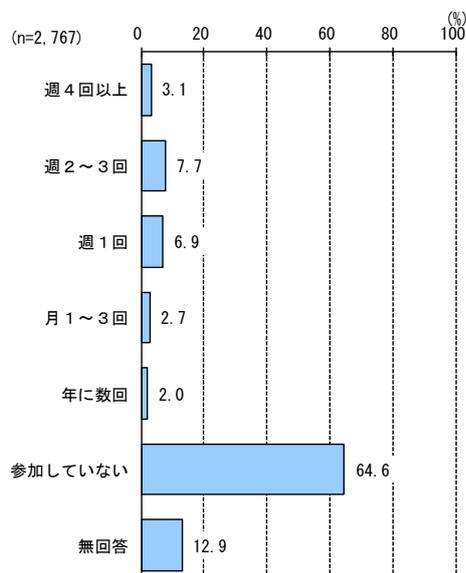
○ 地域での活動への参加について、“年に1回以上参加している”人が「趣味関係のグループ」で28.7%と最も多く、次いで「町内会・自治会」で27.3%、「スポーツ関係のグループやクラブ」で22.4%となっています。

【① ボランティアのグループへの参加頻度】



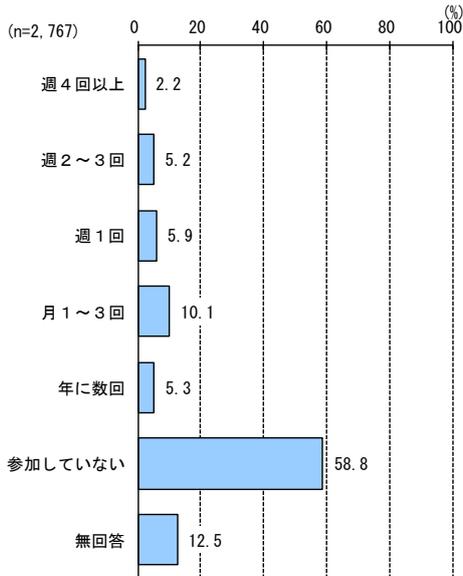
		母数 (n)	ボランティアのグループへの参加頻度						参加していない	無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回			
全体		2,767	0.9	1.4	1.7	4.0	4.1	73.5	14.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	1.2	0.8	0.6	3.9	4.7	84.0	4.7	
	後期高齢者	656	1.4	1.4	1.1	3.8	7.0	68.3	17.1	
	女性 前期高齢者	619	0.5	1.8	1.5	4.4	3.4	80.1	8.4	
	後期高齢者	1,006	0.6	1.6	2.7	3.9	2.4	67.9	21.0	
圏域	東	1,280	0.8	1.7	1.9	4.5	4.7	73.4	13.0	
	西	1,487	0.9	1.2	1.5	3.5	3.6	73.6	15.6	
認定該当状況	一般高齢者	2,017	1.1	1.7	1.7	4.4	4.7	72.6	13.7	
	要支援1・2	750	0.1	0.7	1.6	2.8	2.5	76.1	16.1	

【② スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度】



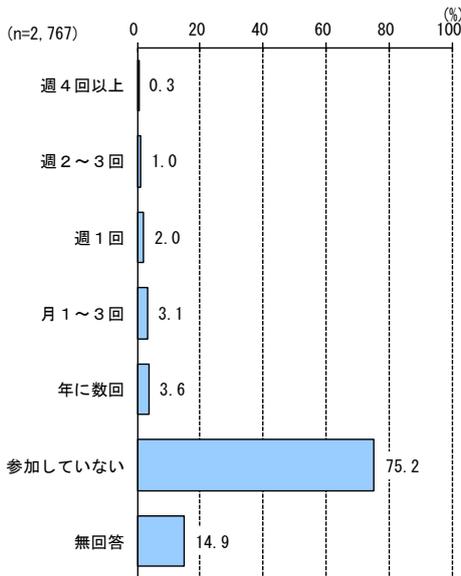
		母数 (n)	スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度						参加していない	無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回			
全体		2,767	3.1	7.7	6.9	2.7	2.0	64.6	12.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	2.5	4.5	3.9	3.9	4.3	75.9	4.9	
	後期高齢者	656	2.9	8.2	3.2	3.4	3.0	64.2	15.1	
	女性 前期高齢者	619	4.4	9.0	9.4	1.8	0.5	66.6	8.4	
	後期高齢者	1,006	2.8	8.1	9.3	2.4	1.1	58.3	18.1	
圏域	東	1,280	2.3	8.5	7.3	3.4	2.2	64.7	11.6	
	西	1,487	3.8	7.0	6.7	2.2	1.8	64.6	14.1	
認定該当状況	一般高齢者	2,017	3.8	8.8	7.2	3.3	2.4	62.6	11.9	
	要支援1・2	750	1.2	4.8	6.1	1.3	0.8	70.1	15.6	

【③趣味関係のグループへの参加頻度】



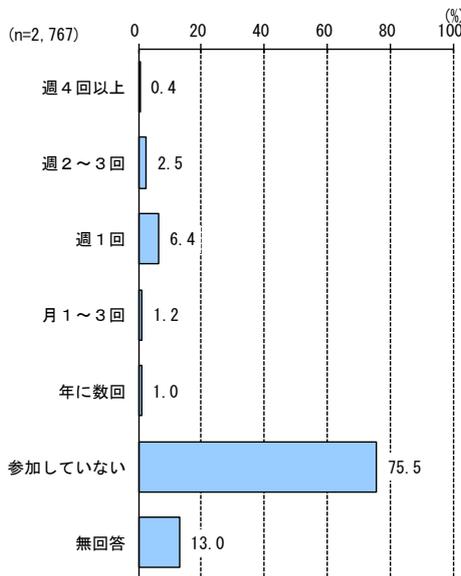
		母数 (n)	趣味関係のグループへの参加頻度						無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	
全体		2,767	2.2	5.2	5.9	10.1	5.3	58.8	12.5
性・年齢	男性 前期高齢者	486	2.3	2.1	5.1	8.6	7.4	69.3	5.1
	後期高齢者	656	3.4	5.9	4.4	7.8	7.3	56.7	14.5
	女性 前期高齢者	619	2.3	6.1	6.1	11.3	5.5	61.4	7.3
	後期高齢者	1,006	1.5	5.7	7.0	11.5	2.8	53.5	18.1
圏域	東	1,280	1.9	5.3	6.3	10.5	5.4	58.8	12.0
	西	1,487	2.6	5.1	5.5	9.8	5.2	58.8	13.0
認定該当状況	一般高齢者	2,017	2.8	5.8	6.8	11.3	5.8	56.4	11.2
	要支援1・2	750	0.7	3.7	3.3	6.9	3.9	65.3	16.1

【④学習・教養サークルへの参加頻度】



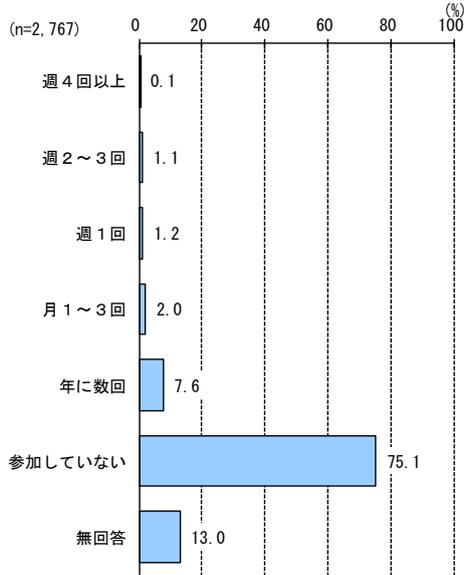
		母数 (n)	学習・教養サークルへの参加頻度						無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	
全体		2,767	0.3	1.0	2.0	3.1	3.6	75.2	14.9
性・年齢	男性 前期高齢者	486	0.6	0.2	1.0	1.0	3.9	87.7	5.6
	後期高齢者	656	0.2	0.8	1.2	1.8	5.3	73.6	17.1
	女性 前期高齢者	619	0.5	1.3	2.9	3.9	3.6	77.9	10.0
	後期高齢者	1,006	0.2	1.3	2.3	4.4	2.3	68.5	21.1
圏域	東	1,280	0.4	1.3	2.0	3.1	4.0	75.7	13.6
	西	1,487	0.3	0.7	2.0	3.0	3.2	74.7	16.1
認定該当状況	一般高齢者	2,017	0.4	1.2	2.1	3.3	4.3	74.5	14.2
	要支援1・2	750	0.1	0.4	1.6	2.4	1.7	76.9	16.8

【⑤はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場への参加頻度】



		母数 (n)	はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場への参加頻度						無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	
全体		2,767	0.4	2.5	6.4	1.2	1.0	75.5	13.0
性・年齢	男性 前期高齢者	486	0.4	0.2	0.8	0.6	1.0	91.6	5.3
	後期高齢者	656	0.3	0.6	4.1	1.1	0.6	77.1	16.2
	女性 前期高齢者	619	0.5	2.4	6.8	0.6	1.3	80.6	7.8
	後期高齢者	1,006	0.5	4.8	10.4	1.9	1.1	63.4	17.9
圏域	東	1,280	0.5	2.3	7.3	1.6	1.3	74.9	12.2
	西	1,487	0.4	2.6	5.7	0.9	0.8	75.9	13.7
認定該当状況	一般高齢者	2,017	0.5	2.3	6.1	1.2	1.0	76.5	12.2
	要支援1・2	750	0.1	2.8	7.3	1.1	1.1	72.5	15.1

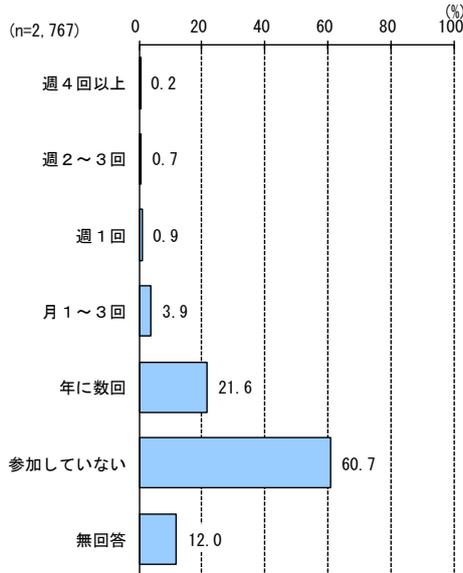
【⑥老人クラブへの参加頻度】



単位：%

		母数 (n)	老人クラブへの参加頻度						参加していない	無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回			
全体		2,767	0.1	1.1	1.2	2.0	7.6	75.1	13.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	-	0.4	0.8	0.4	4.5	88.5	5.3	
	後期高齢者	656	0.5	1.7	1.2	2.3	8.5	70.6	15.2	
	女性 前期高齢者	619	-	0.6	0.3	0.6	4.0	85.8	8.6	
	後期高齢者	1,006	0.1	1.3	1.9	3.3	10.5	65.0	17.9	
圏域	東	1,280	-	0.7	1.3	2.0	8.3	75.5	12.3	
	西	1,487	0.3	1.4	1.1	2.0	6.9	74.7	13.6	
認定該当状況	一般高齢者	2,017	0.2	1.0	1.1	2.0	6.7	76.7	12.2	
	要支援1・2	750	-	1.3	1.3	1.7	9.7	70.8	15.1	

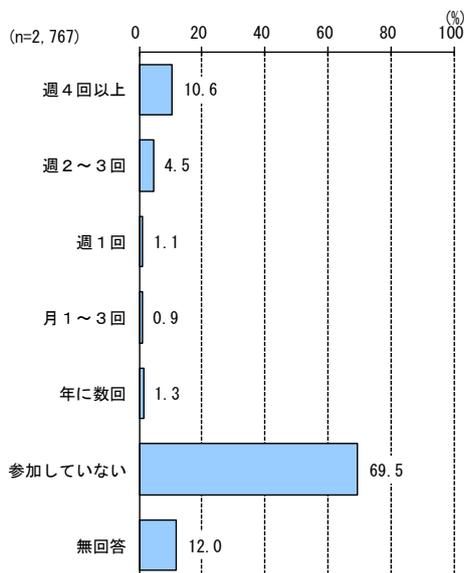
【⑦町内会・自治会への参加頻度】



単位：%

		母数 (n)	町内会・自治会への参加頻度						参加していない	無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回			
全体		2,767	0.2	0.7	0.9	3.9	21.6	60.7	12.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	0.4	0.8	0.8	4.5	20.4	68.7	4.3	
	後期高齢者	656	0.3	0.8	0.6	4.4	23.3	57.3	13.3	
	女性 前期高齢者	619	-	0.5	0.5	3.2	23.4	65.1	7.3	
	後期高齢者	1,006	0.2	0.6	1.5	3.8	19.9	56.4	17.7	
圏域	東	1,280	0.2	0.5	1.1	3.5	22.3	60.7	11.6	
	西	1,487	0.3	0.7	0.8	4.3	20.9	60.7	12.2	
認定該当状況	一般高齢者	2,017	0.2	0.7	1.0	4.5	23.7	58.8	11.1	
	要支援1・2	750	0.1	0.4	0.8	2.5	15.9	65.9	14.4	

【⑧収入のある仕事への参加頻度】



単位：%

		母数 (n)	収入のある仕事への参加頻度						参加していない	無回答
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回			
全体		2,767	10.6	4.5	1.1	0.9	1.3	69.5	12.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	25.1	8.6	2.5	1.9	2.7	54.1	5.1	
	後期高齢者	656	7.8	3.2	0.8	1.2	1.4	72.7	13.0	
	女性 前期高齢者	619	15.7	7.6	1.5	0.6	1.8	66.6	6.3	
	後期高齢者	1,006	2.3	1.5	0.5	0.4	0.3	76.7	18.3	
圏域	東	1,280	10.3	4.8	0.9	0.9	1.6	69.8	11.7	
	西	1,487	10.8	4.3	1.3	0.9	1.1	69.3	12.3	
認定該当状況	一般高齢者	2,017	14.0	5.8	1.5	1.1	1.6	65.0	10.9	
	要支援1・2	750	1.3	1.1	-	0.4	0.4	81.6	15.2	

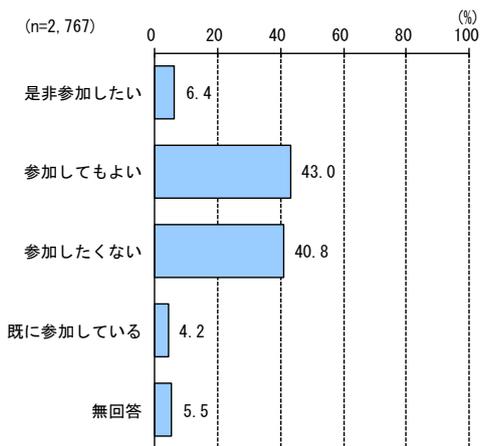
(2) 地域づくり活動への参加意向

- 問 5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が43.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が40.8%、「是非参加したい」が6.4%となっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



単位：%

	母数 (n)	地域づくり活動に対する参加者としての参加意向					
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	
全体	2,767	6.4	43.0	40.8	4.2	5.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	3.9	47.3	43.6	2.3	2.9
	後期高齢者	656	4.1	44.4	40.9	5.0	5.6
	女性 前期高齢者	619	8.2	45.6	40.4	2.3	3.6
	後期高齢者	1,006	8.0	38.5	39.8	5.9	8.0
圏域	東	1,280	7.0	45.5	38.4	4.1	4.8
	西	1,487	5.9	40.8	42.9	4.3	6.1
認定該当状況	一般高齢者	2,017	6.3	45.9	38.3	4.4	5.2
	要支援1・2	750	6.7	35.3	47.7	3.7	6.5

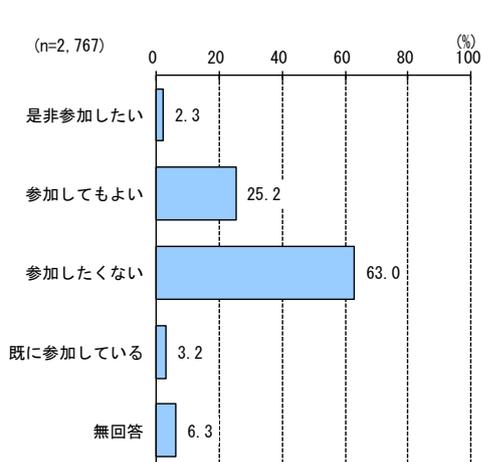
(3) 地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向

- 問 5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

【全体】

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が63.0%で最も多く、次いで「参加してもよい」が25.2%、「既に参加している」が3.2%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



単位：%

	母数 (n)	地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向					
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	
全体	2,767	2.3	25.2	63.0	3.2	6.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	2.1	28.6	64.6	1.6	3.1
	後期高齢者	656	2.1	25.2	61.6	4.9	6.3
	女性 前期高齢者	619	2.6	25.4	65.8	2.1	4.2
	後期高齢者	1,006	2.3	23.4	61.5	3.6	9.2
圏域	東	1,280	2.3	26.3	62.7	3.4	5.3
	西	1,487	2.2	24.2	63.3	3.1	7.2
認定該当状況	一般高齢者	2,017	2.5	27.0	61.0	3.6	5.9
	要支援1・2	750	1.7	20.3	68.4	2.3	7.3

7. 健康について

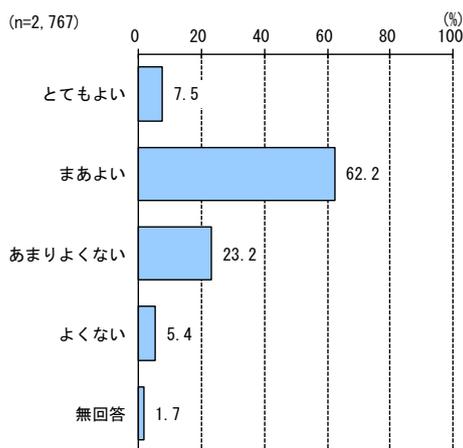
(1) 主観的健康感

●問 7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

【全体】

○ 主観的健康感について、「まあよい」が62.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が23.2%、「とてもよい」が7.5%となっています。

【主観的健康感】



単位：%

	母数 (n)	主観的健康感					
		とても よい	ま あ よ い	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答	
全体	2,767	7.5	62.2	23.2	5.4	1.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	5.6	70.6	18.7	3.5	1.6
	後期高齢者	656	7.9	59.1	25.5	5.9	1.5
	女性 前期高齢者	619	11.0	66.9	16.8	3.7	1.6
	後期高齢者	1,006	6.0	57.4	27.8	7.1	1.8
圏域	東	1,280	6.8	65.2	21.3	5.0	1.8
	西	1,487	8.1	59.7	24.9	5.8	1.5
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	9.4	69.2	17.0	2.9	1.6
	要支援 1・2	750	2.3	43.6	40.0	12.3	1.9

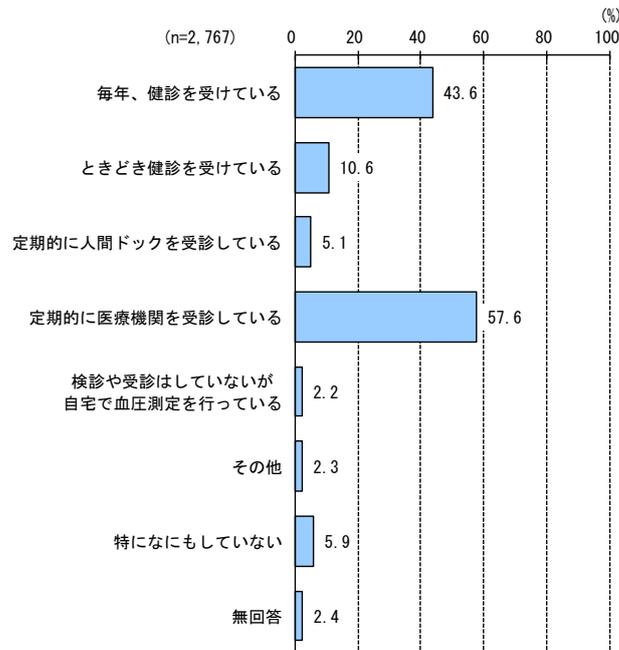
(2) 普段の健康管理

●問 7.8 普段、定期的に健康管理をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 普段、定期的に健康管理をしているかについて、「定期的に医療機関を受診している」が57.6%で最も多く、次いで「毎年、健診を受けている」が43.6%、「ときどき健診を受けている」が10.6%となっています。

【普段、定期的に健康管理をしているか (MA)】



単位：%

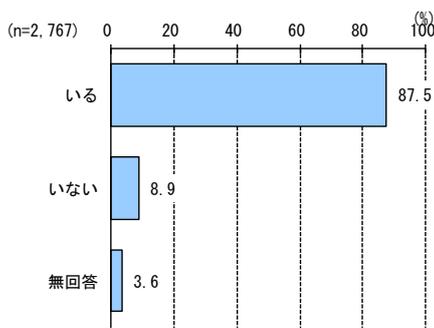
	母数 (n)	普段、定期的に健康管理をしているか (MA)								
		毎年、健診を受けている	ときどき健診を受けている	定期的に人間ドックを受診している	定期的に医療機関を受診している	自宅や検診や血圧測定を行っていないが	その他	特になにもしていない	無回答	
全体	2,767	43.6	10.6	5.1	57.6	2.2	2.3	5.9	2.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	44.2	9.1	9.9	47.1	2.3	1.9	7.6	1.6
	後期高齢者	656	38.4	10.5	3.5	64.3	1.8	1.5	5.0	3.0
	女性 前期高齢者	619	47.5	12.1	5.7	50.7	2.4	2.6	7.1	1.8
	後期高齢者	1,006	44.2	10.4	3.4	62.5	2.4	3.0	4.9	2.7
圏域	東	1,280	43.6	11.0	5.7	58.3	1.9	2.7	5.4	2.4
	西	1,487	43.6	10.2	4.5	57.0	2.6	2.0	6.3	2.4
認定該当状況	一般高齢者	2,017	46.4	10.2	6.1	53.5	2.5	2.1	6.9	2.1
	要支援1・2	750	36.0	11.6	2.3	68.5	1.6	3.1	3.2	3.2

●問 7.9 身近な医療の専門家はいますか。（それぞれ1つ）

【全体】

- かかりつけ医の有無について、「いる」が87.5%、「いない」が8.9%となっています。
- かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が74.1%、「いない」が12.9%となっています。
- かかりつけ薬局の有無について、「いる」が60.8%、「いない」が23.6%となっています。

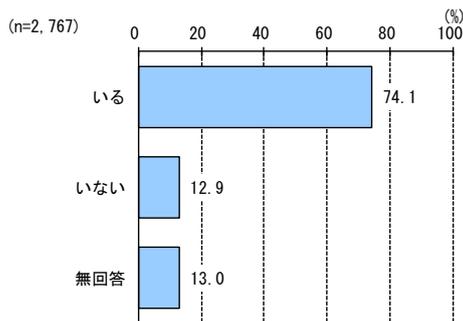
【かかりつけ医の有無】



単位：%

	母数 (n)	かかりつけ医の有無			
		いる	いない	無回答	
全体	2,767	87.5	8.9	3.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	81.7	16.3	2.1
	後期高齢者	656	89.0	6.7	4.3
	女性 前期高齢者	619	85.5	12.8	1.8
	後期高齢者	1,006	90.6	4.4	5.1
圏域	東	1,280	88.0	8.2	3.8
	西	1,487	87.1	9.5	3.4
認定該当状況	一般高齢者	2,017	85.5	11.3	3.3
	要支援1・2	750	92.9	2.5	4.5

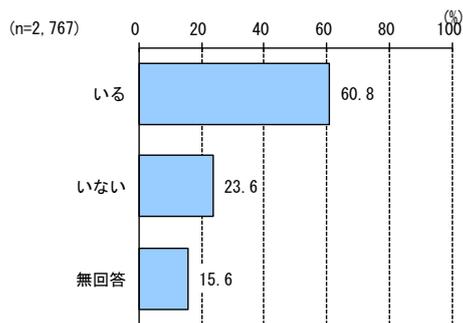
【かかりつけ歯科医の有無】



単位：%

	母数 (n)	かかりつけ歯科医の有無			
		いる	いない	無回答	
全体	2,767	74.1	12.9	13.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	70.2	21.8	8.0
	後期高齢者	656	70.4	12.5	17.1
	女性 前期高齢者	619	80.0	11.3	8.7
	後期高齢者	1,006	74.8	9.7	15.5
圏域	東	1,280	75.6	11.6	12.7
	西	1,487	72.8	13.9	13.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	75.1	12.8	12.1
	要支援1・2	750	71.3	13.1	15.6

【かかりつけ薬局の有無】



単位：%

	母数 (n)	かかりつけ薬局の有無			
		いる	いない	無回答	
全体	2,767	60.8	23.6	15.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	486	53.9	35.6	10.5
	後期高齢者	656	57.6	22.1	20.3
	女性 前期高齢者	619	60.1	29.7	10.2
	後期高齢者	1,006	66.7	14.9	18.4
圏域	東	1,280	58.8	25.5	15.8
	西	1,487	62.6	21.9	15.5
認定該当状況	一般高齢者	2,017	56.5	27.7	15.8
	要支援1・2	750	72.4	12.5	15.1

(3) うつリスク高齢者

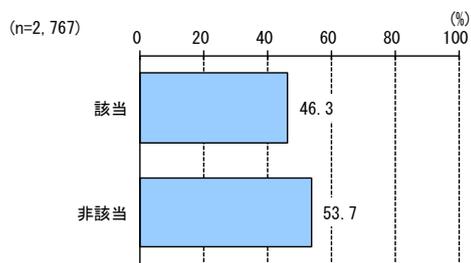
以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つだけ）	1. はい
問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つだけ）	1. はい

【全体】

○ うつのリスクについて、「該当」が46.3%、「非該当」が53.7%となっています。

【うつのリスク】



		母数 (n)	単位：%	
			うつのリスク 該当	非 該当
全体		2,767	46.3	53.7
性・年齢	男性 前期高齢者	486	40.5	59.5
	後期高齢者	656	43.8	56.3
	女性 前期高齢者	619	44.1	55.9
	後期高齢者	1,006	52.1	47.9
圏域	東	1,280	46.2	53.8
	西	1,487	46.4	53.6
認定該当 状況	一般高齢者	2,017	40.6	59.4
	要支援1・2	750	61.6	38.4

8. 認知症について

(1) 認知症のリスク

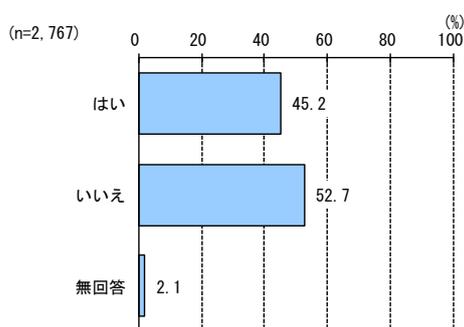
以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
問4-1 物忘れが多いと感じますか	1. はい

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が45.2%、「いいえ」が52.7%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



		母数 (n)	物忘れが多いと感じるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	45.2	52.7	2.1
性・年齢	男性 前期高齢者	486	33.3	65.4	1.2
	後期高齢者	656	46.3	52.0	1.7
	女性 前期高齢者	619	40.1	58.0	1.9
	後期高齢者	1,006	53.5	43.7	2.8
圏域	東	1,280	45.6	52.3	2.1
	西	1,487	44.9	53.1	2.0
認定該当状況	一般高齢者	2,017	42.5	55.7	1.8
	要支援1・2	750	52.5	44.7	2.8

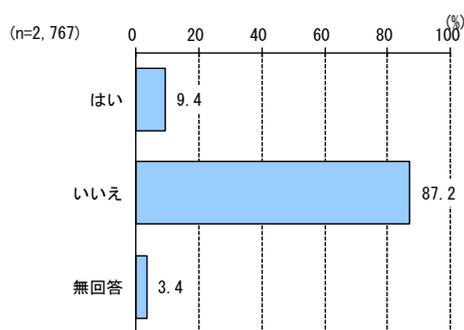
(2) 認知症について

●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

【全体】

○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が9.4%、「いいえ」が87.2%となっています。

【自身や家族の認知症の症状有無】



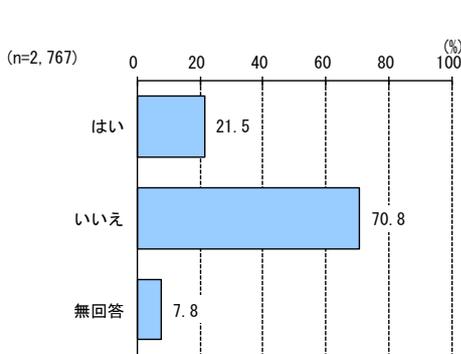
		母数 (n)	自身や家族の認知症の症状有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	9.4	87.2	3.4
性・年齢	男性 前期高齢者	486	7.8	90.9	1.2
	後期高齢者	656	9.5	87.3	3.2
	女性 前期高齢者	619	9.0	88.2	2.7
	後期高齢者	1,006	10.2	84.8	5.0
圏域	東	1,280	9.1	87.9	3.0
	西	1,487	9.6	86.7	3.7
認定該当状況	一般高齢者	2,017	8.5	88.4	3.1
	要支援1・2	750	11.7	84.0	4.3

●問 8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が21.5%、「いいえ」が70.8%となっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



単位：%

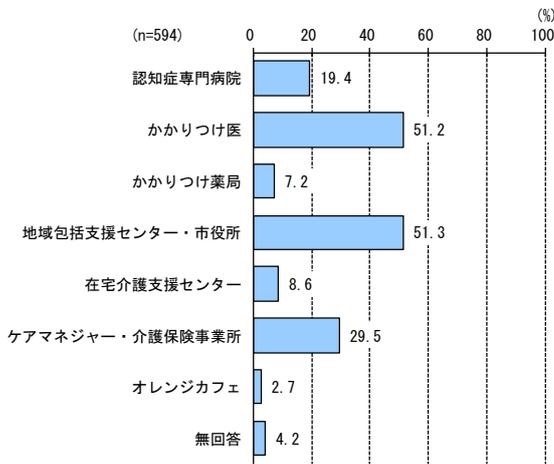
		母数 (n)	認知症に関する相談窓口の周知状況		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,767	21.5	70.8	7.8
性・年齢	男性 前期高齢者	486	17.9	79.0	3.1
	後期高齢者	656	20.7	71.6	7.6
	女性 前期高齢者	619	25.5	67.2	7.3
	後期高齢者	1,006	21.2	68.4	10.4
圏域	東	1,280	23.3	69.5	7.2
	西	1,487	19.9	71.8	8.3
認定該当状況	一般高齢者	2,017	21.1	72.0	6.8
	要支援1・2	750	22.4	67.3	10.3

●問 8.2-1 相談窓口で知っている場所はありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 知っている相談窓口について、「地域包括支援センター・市役所」が51.3%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が51.2%、「ケアマネジャー・介護保険事業所」が29.5%となっています。

【知っている相談窓口 (MA)】



単位：%

		母数 (n)	知っている相談窓口 (MA)							無回答
			認知症専門病院	かかりつけ医	かかりつけ薬局	市地域包括支援センター	在宅介護支援センター	ケアマネジャー・介護保険事業所	オレンジカフェ	
全体		594	19.4	51.2	7.2	51.3	8.6	29.5	2.7	4.2
性・年齢	男性 前期高齢者	87	17.2	46.0	3.4	52.9	11.5	29.9	2.3	4.6
	後期高齢者	138	15.2	59.4	8.0	42.8	5.1	18.1	1.4	3.6
	女性 前期高齢者	160	23.8	36.3	6.3	62.5	10.0	33.1	5.0	4.4
	後期高齢者	209	19.6	59.3	9.1	47.8	8.6	34.0	1.9	4.3
圏域	東	297	16.2	51.2	5.7	54.5	11.1	25.3	3.0	4.7
	西	297	22.6	51.2	8.8	48.1	6.1	33.7	2.4	3.7
認定該当状況	一般高齢者	426	19.2	46.5	6.6	55.9	9.9	23.0	2.8	4.7
	要支援1・2	168	19.6	63.1	8.9	39.9	5.4	45.8	2.4	3.0

9. 調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性・住まいの状況

回答者の属性について、男性が1,142人、女性が1,625人と女性のほうが多く、前期高齢者が1,105人、後期高齢者が1,662人となっています。回答者に占める認定者（要支援1・2）の割合は27.1%となっています。

家族構成について、1人暮らしが約2割、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が約4割となっており、合わせると約6割が高齢者のみの世帯となっています。女性の後期高齢者、要支援1・2で1人暮らしの割合が3割以上と多く、地域における見守りが必要となっています。

現在の暮らしについて、3割以上（「大変苦しい」が8.8%、「やや苦しい」が27.0%）が経済的に苦しいと回答しています。

(2) 介護の状況

介護・介助が必要になった原因について、全体では骨折・転倒が2割を超えており、男性に比べて女性で多くなっています。また、男性では脳卒中（脳出血・脳梗塞等）が2割以上、男性後期高齢者では心臓病が2割近くと多くなっており、男性では生活習慣病に起因する疾患により介護・介助が必要になっている傾向があります。要介護状態になる原因には、高齢による身体機能の悪化だけでなく、生活習慣病に起因する疾病が多くみられるため、外出のきっかけであり身体機能・認知症予防等の効果が期待される通いの場において、あわせて保健分野の取り組みを進めることが重要です。要介護状態になった原因には差があり、東圏域では特に関節の病気や糖尿病、西圏域では心臓病や脳卒中が多くなっていることから、それぞれの地域に暮らす高齢者の状態像に合った通いの場づくりが必要といえます。

主な介護者について、家族・親族では配偶者、娘、息子の割合が多くなっていますが、女性では介護サービスのヘルパーの割合が多くなっています。

(3) 運動・外出について

運動器の機能低下をみると、リスク該当者の割合は全体で27.2%となっていますが、女性後期高齢者では41.8%と特に多くなっています。補助なしで階段を昇ることや椅子から立ち上がること、15分程度歩くことについて、できるにもかかわらずしていない人が1割から2割程度みられます。日常生活におけるこうした取り組みの積み重ねによって、身体機能が維持され、介護予防につながることを意識付けが必要です。

外出の状況については、週1回以上外出する人が92.1%（前回：90.7%）となっており、前回調査と比べると外出頻度が高い人が多くなっています。外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が全体で60.6%となっていますが、東圏域では「外での楽しみがない」「交通手段がない」「自宅周辺に問題がある（坂道・階段等）」が西圏域と比較して多かったことから、東圏域では西圏域に比べて外的要因が外出の妨げとなっている傾向があります。

閉じこもりのリスクをみると、後期高齢者で該当者の割合が多く、特に女性では約3割となっています。女性後期高齢者では、外出を控えている理由として「交通手段がない」が18.4%となっており、足腰などの痛みにより外出が億劫になることに加え、交通手段がないため閉じこもり傾向になっている可能性があります。

(4) 口腔・栄養について

咀嚼機能、嚥下機能等の口腔機能低下のリスクに該当している人は全体では約3割となっています。また、自分の歯が20本以上ある人は、前期高齢者では半数以上であるのに対し、後期高齢者では約4割に留まっています。歯磨きの状況をみると、毎日行えていない人は男性、要支援1・2では1割以上となっています。口内を清潔に保つことで、口腔機能の維持・栄養状態の改善のほか、肺炎や認知症の予防にもつながるとされていることから、口腔清掃方法の周知と習慣付けを行うことが必要です。

(5) 日常生活について

一般高齢者では、バスや電車を使った1人での外出や食品・日用品の買物、友人との関わり、本や雑誌を読むことができている人の割合が多くなっていますが、要支援1・2では少なくなっていることから、要支援1以上になると行動範囲がやや限定され、あらゆる情報を収集する能力も低くなっていることが分かります。ただし、健康についての記事や番組に関しては、要支援1・2でも9割近くが関心を持っており、一般高齢者と差はありません。

圏域を比較すると、外出や買い物、食事の用意について、東圏域では西圏域に比べ「できるし、している」が多くなっています。特に困っていることについて、東圏域では西圏域に比べ「家具電化製品等の買物」「最寄り駅までの移動」、西圏域では東圏域に比べ「病院等の通院」が多くなっています。東圏域ではバスや電車を使った外出や日用品等の買い物を自分でしている人が西圏域に比べると多くなっていますが、移動手段がない人では、西圏域に比べ家具や電化製品等の大きな買い物の際や、最寄り駅までの移動に特に困りを感じている傾向があり、身体の状態が悪化した場合には、現在はできている外出・買い物に対する支援が必要とされています。また、西圏域では東圏域に比べ病院等の通院の際の移動手段に困っている人が多いことから、通院時の送迎などの移動支援が必要です。

趣味について、一般高齢者では71.3%となっていますが、要支援1・2では56.9%と少なくなっています。また、生きがいについて、一般高齢者では58.2%、要支援1・2では44.0%と趣味同様の傾向がみられます。高齢者になっても自立した生活を送るために必要なことについて、「生きがい・趣味活動」と回答した人が34.6%となっており、高齢者の自立した生活を支えるため、生きがい・趣味活動の支援も重要です。

(6) 社会参加について

地域活動について、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会に参加している人が2割以上と比較的多くなっています。また、収入のある仕事をしている人は18.4%（前回：12.9%）となっており、前回調査から5ポイント以上上昇しています。はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場については、参加している人が全体で1割に達しています。圏域別にみると、東圏域で13.0%、西圏域で10.4%と通いの場の参加率は東圏域の方がやや高くなっています。

地域づくり活動について、参加者として参加可能である人は49.4%（前回：59.3%）、お世話役として参加可能である人は27.5%（前回：32.7%）となっており、前回調査から参加者で約10ポイント、お世話役で約5ポイント低下しています。性・年齢をみると、男女ともに前期高齢者では参加者として参加可能である人が半数以上、男性では前期高齢者でお世話役として参加可能である人が3割以上と多くなっています。圏域別にみると、参加者・お世話役ともに参加可能である人は東圏域の方が多くなっています。

趣味・スポーツ関係のグループや、町内会・自治会、収入のある仕事などへの参加を通じて地域の人の関わりの場を持ち、これを地域づくり活動に展開していくよう取り組む必要があります。また、地域づくり活動の担い手となる人材育成を支援し、住民主体の地域づくり活動に繋げていく必要があります。

(7) 健康について

自身の健康状態をよいと感じている人は約7割となっていますが、男女ともに前期高齢者に比べ後期高齢者では健康感が下がる傾向がみられます。また、一般高齢者では約8割がよいと感じているのに対し、要支援1・2では5割以下となっていることから、主観的健康感には身体状況に影響される可能性が考えられます。

普段の健康管理について、「定期的に医療機関を受診している」人が半数以上、「毎年、健診を受けている」が4割以上と、定期的な健康管理ができている人が多くみられます。また、身近な医療の専門家について、かかりつけ医がいる人が87.5%（前回：81.8%）、かかりつけ歯科医がいる人が74.1%（前回：64.3%）、かかりつけ薬局がある人が60.8%（前回：49.8%）となっており、いずれも前回調査から5ポイント以上上昇しています。かかりつけ医・歯科医・薬剤師を持つことは、医療を受けるだけでなく、健康管理などの相談相手となる重要な存在であり、引き続き普及啓発を行う必要があります。

(8) 認知症について

認知症について、自身や家族に症状がある人は約1割となっています。また、認知症に関する相談窓口を知っている人は約2割となっています。相談窓口で知っている場所について、「地域包括支援センター・市役所」「かかりつけ医」がそれぞれ半数以上となっています。

圏域を比較すると、東圏域では西圏域に比べ「地域包括支援センター・市役所」、「在宅介護支援センター」が多く、西圏域では東圏域に比べ「認知症専門病院」「ケアマネジャー・介護保険事業所」が多くなっています。認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」をめざし、認知症バリアフリーの地域づくりを進めるにあたり、認知症の症状の有無にかかわらず、まずは地域で認知症の相談窓口が周知されることが重要であると考えられます。

Ⅲ. 在宅介護実態調査結果（抜粋）

※問の掲載順は調査票と異なる場合があります。

1. 施設等への入所・入居の検討状況

●A票 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

【全体】

○ 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が84.1%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が12.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.4%となっています。

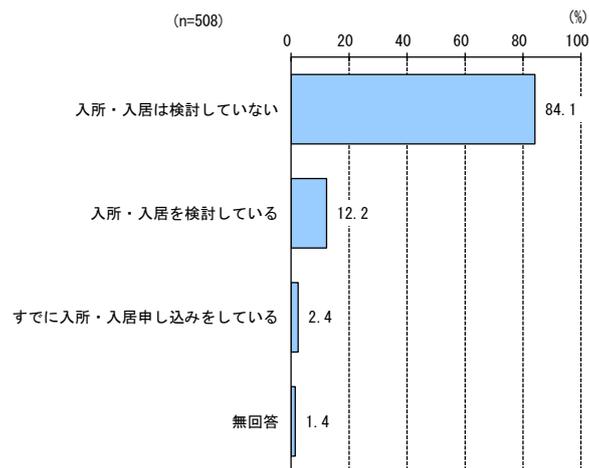
【要介護3以上】

○ 「検討していない」が70.0%となっています。

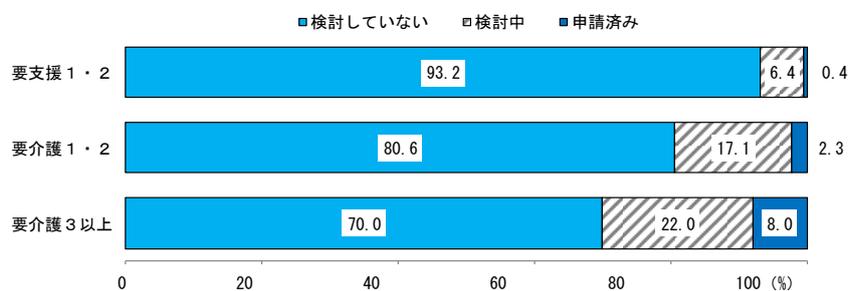
【単身世帯】

○ 「検討していない」が82.2%となっています。

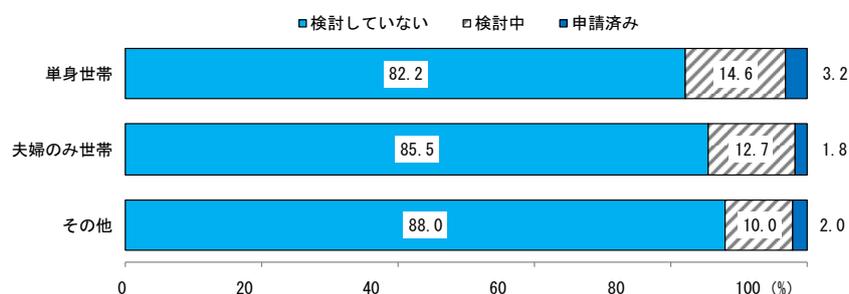
【施設等への入所・入居の検討状況】



【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別）】



【施設等への入所・入居の検討状況（世帯類型別）】



2. 介護者が不安を感じる介護

●B 票 問 5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。（3つまで選択可）

【要支援1・2】

○ 「外出の付き添い、送迎等」、「屋内の移乗・移動」、「入浴・洗身」が多くなっています。

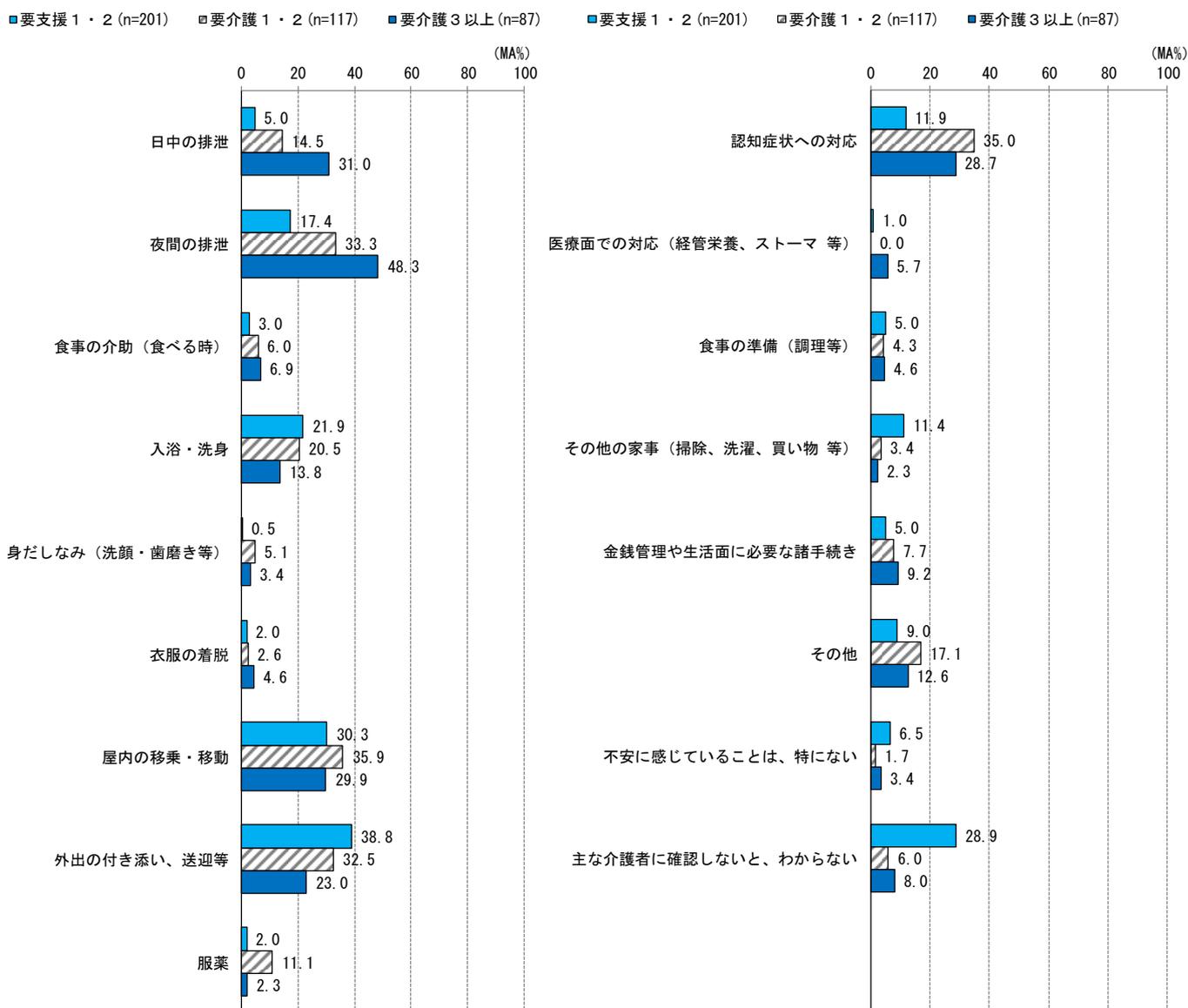
【要介護1・2】

○ 「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」が多くなっています。

【要介護3以上】

○ 「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」が多くなっています。

【介護者が不安を感じる介護(要介護度別)】



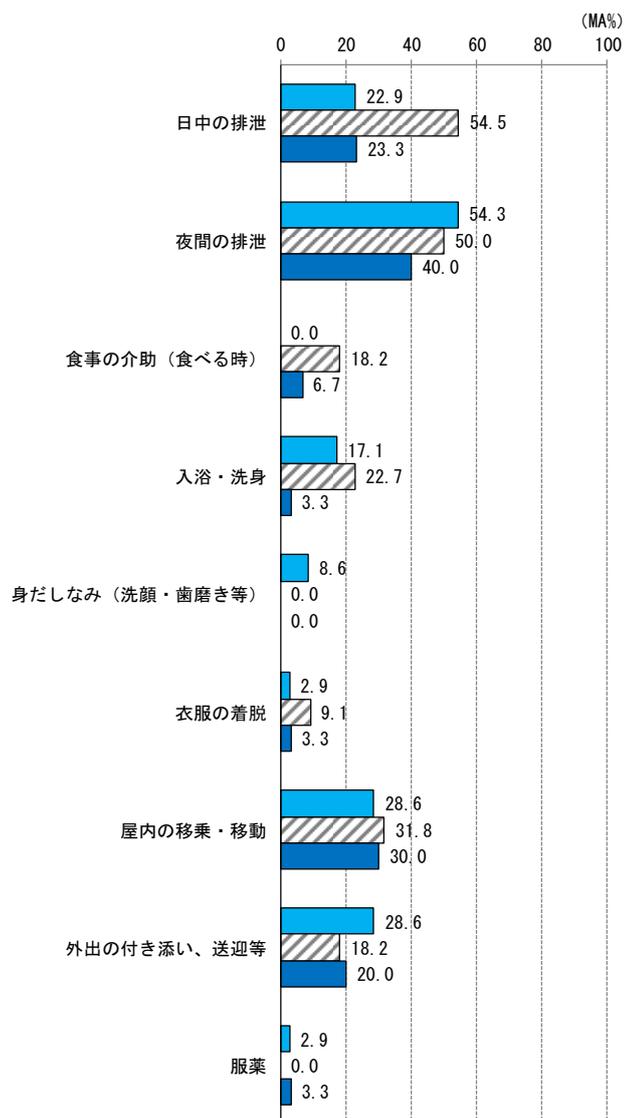
<訪問系サービスの利用回数別（要介護3以上）>

【全体】

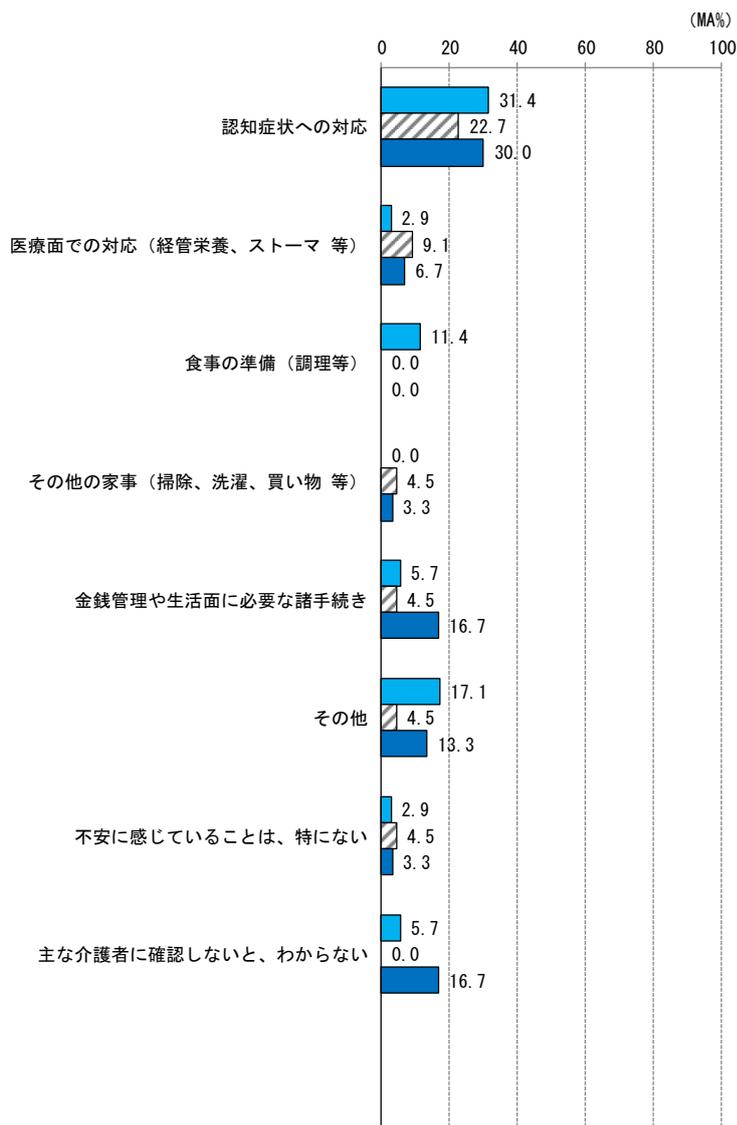
- 訪問系サービスの利用回数が多くなるにつれて、「夜間の排泄」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。

【介護者が不安に感じる介護(訪問系サービス利用回数別)】

■訪問系_0回 (n=35) □訪問系_1~14回 (n=22) ■訪問系_15回以上 (n=30)



■訪問系_0回 (n=35) □訪問系_1~14回 (n=22) ■訪問系_15回以上 (n=30)



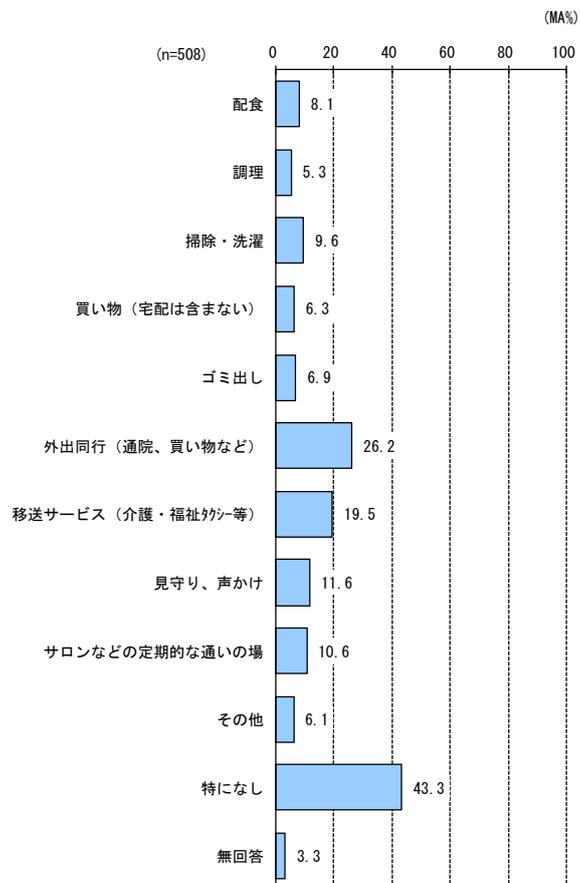
3. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

●A 票 問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

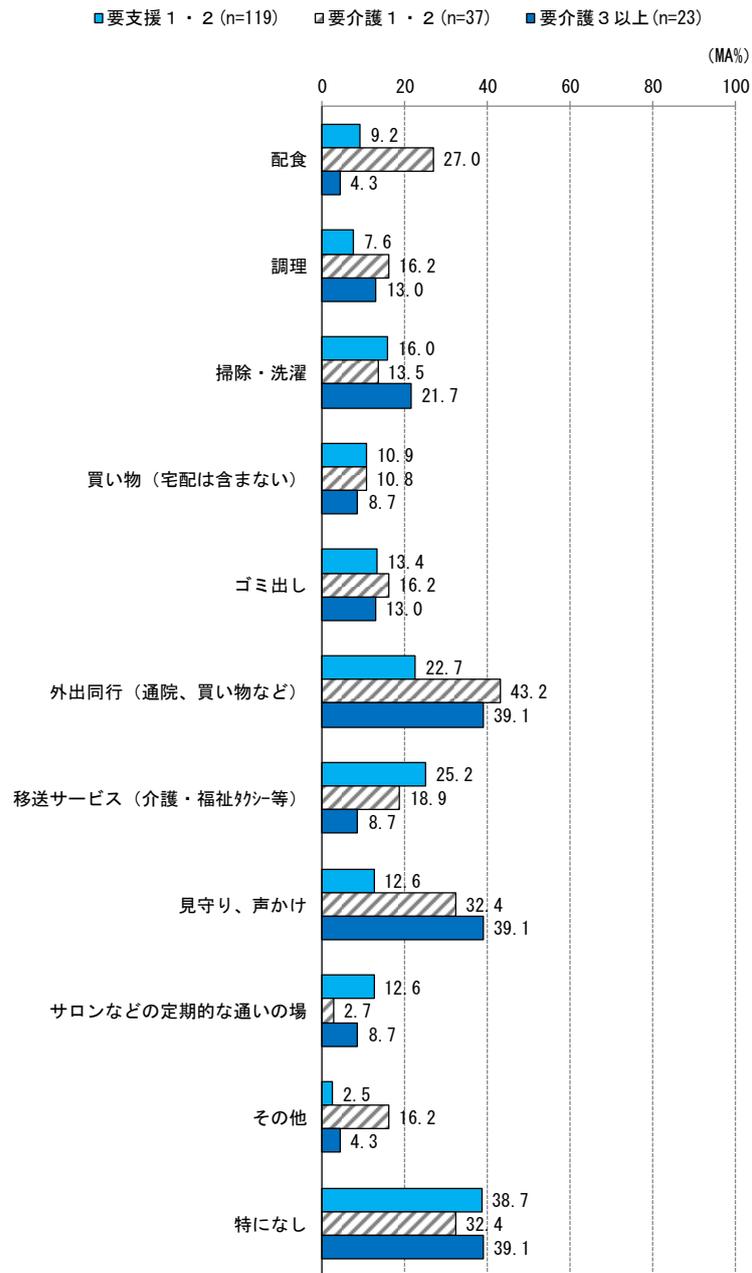
【全体】

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「特になし」が43.3%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が26.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.5%となっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】 ※単身世帯のみ



4. 医療面での対応、訪問診療の利用

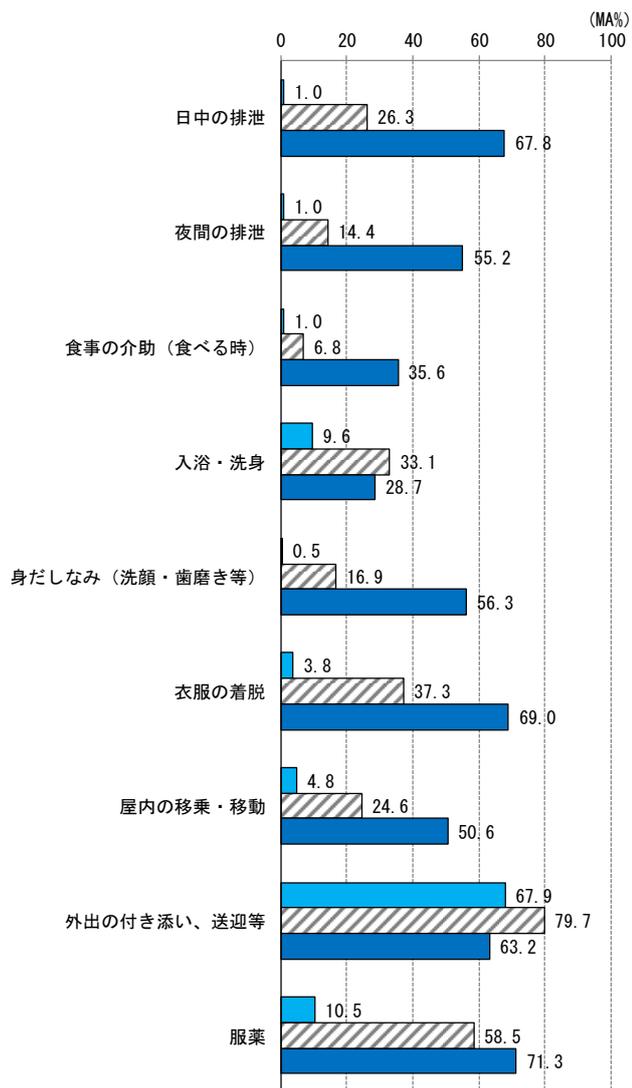
●A票 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

【全体】

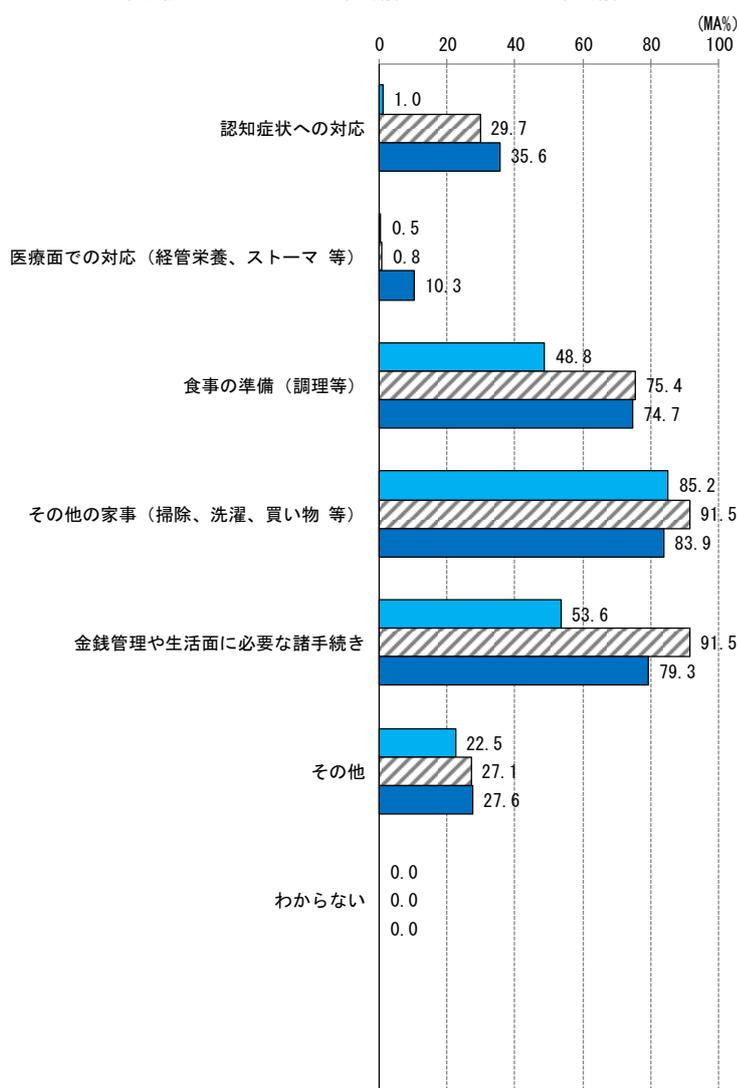
○ 要介護度が高くなるにつれて、「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を行っている介護者が多くなる傾向がみられます。

【主な介護者が行っている介護(MA)（要介護度別）】

■要支援1・2 (n=209) □要介護1・2 (n=118) ■要介護3以上 (n=87)



■要支援1・2 (n=209) □要介護1・2 (n=118) ■要介護3以上 (n=87)

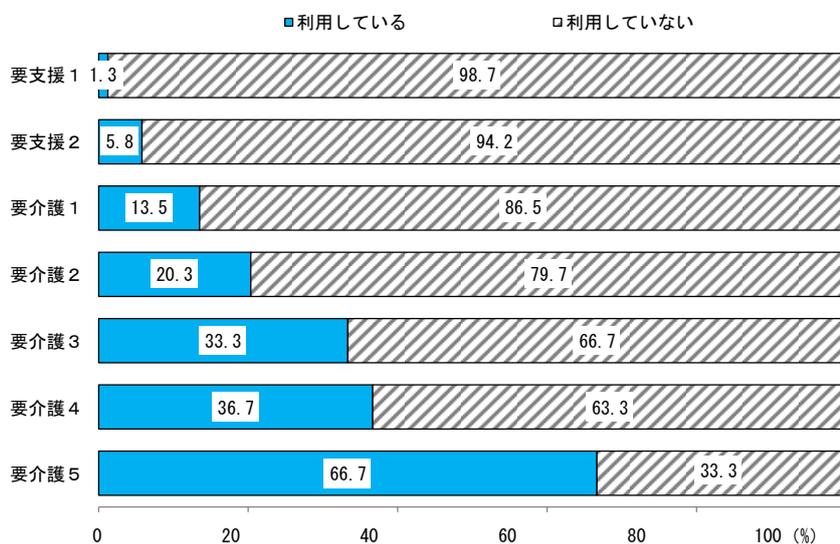


●A票 問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

【全体】

○ 要介護度が高くなるにつれて、「利用している」が多くなる傾向がみられます。

【訪問診療の利用状況（要介護度別）】



5. 調査結果のまとめ

(1) 在宅生活の継続を考えている人

施設等への入所・入居の検討状況について、一般的に施設ニーズの高い要介護3以上の重度な要介護者では7割、単身世帯では約8割以上の人が「検討していない」と回答していることから、在宅生活の継続を考えている人が多くなっています。

(2) 介護者が不安に感じる介護と訪問系サービスの関係

介護者が不安に感じる介護について、要介護度別にみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」「屋内の移乗・移動」「入浴・洗身」、要介護1・2では「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」「夜間の排泄」、要介護3以上では「夜間の排泄」「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」が多くなっています。介護者不安の側面からみた場合、在宅生活の継続に影響を与える要素といえるため、これらに係る介護不安をいかに軽減していくかが、在宅生活の継続を維持するポイントになると考えられます。

要介護3以上の人に限って、訪問系サービスの利用状況別に不安に感じる介護をみると、訪問系サービスを利用している人では、先ほど挙がっていた不安に感じる介護のうち、「夜間の排泄」を不安に感じる人が少なくなっています。在宅での生活に、介護職・看護職等の目が多く入ることにより、在宅での生活環境の改善や介護者の不安の軽減につながっている可能性が考えられます。

(3) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「外出同行（通院、買い物など）」のニーズが高くなっています。このような外出に係る支援・サービスは、「買い物」や「サロンへの参加」など、他の支援・サービスとの関係も深いことから、「外出に係る支援・サービスの充実」は大きな課題であるといえます。また、単身世帯においては、「見守り・声かけ」のニーズも高くなっており、孤独死などが社会問題となっている中、独居高齢者が安心して生活できるよう、地域で見守りや声かけを行うことができる仕組みづくりが必要です。

(4) 医療面での対応、訪問診療の利用

主な介護者が現在行っている介護のうち「医療面での対応」について、要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて行っている人が多くなっており、要介護3以上の人では10.3%となっています。訪問診療の利用の有無について、要介護度別にみると、利用している人の割合は要介護度が高くなるにつれて多くなっており、要介護3では33.3%、要介護4では36.7%、要介護5では66.7%となっています。このことから、要介護度が重度になるにつれて、医療面での対応がより必要となっていることが伺え、それに伴い訪問診療の利用が増えていることがわかります。

今後、中重度者が増加するとそれに伴い「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」の増加が予想されます。いかに適切なサービス提供体制を確保していくかが重要な課題であると考えられます。